

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

国立国会図書館憲政資料室
株式会社クレス出版 編

桂太郎関係文書目録

株式会社クレス出版

目

次

書翰の部

天岡直嘉書翰	一
青木周蔵書翰	一
荒川邦蔵書翰	一
有松英義書翰	一
浅井道博書翰	一
後藤新平書翰	一
花房義質書翰	三
橋本綱常書翰	三
桧了介書翰	三
平田東助書翰	三
広沢真臣書翰	四
土方久元書翰	四
福原実書翰	四
石部虎三書翰	四
井上馨書翰	五
井上穀書翰	七
伊藤博文書翰	八

小川又次書翰	野村靖書翰	西周書翰	新山春太郎書翰	陸奥宗光書翰	毛利元德書翰	三好重臣書翰	松方正義書翰	黒田久孝書翰	九鬼隆一書翰	児島益謙書翰	小松原英太郎書翰	児玉源太郎書翰	清浦奎吾書翰	木越安綱書翰	木戸孝允書翰	梶山昇介書翰	川崎祐名書翰	加藤高明書翰	香川敬三書翰	樺山資紀書翰	岩倉具定書翰
二七	二七	二六	二六	二六	二六	二六	二四	二四	二四	二四	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二二	二〇

岡部長職書翰	七
大谷光尊書翰	七
大谷光瑞書翰	七
大浦兼武書翰	七
大山巖書翰	六
小沢武雄書翰	六
西園寺公望書翰	六
斎藤実書翰	二〇
滋野清彦書翰	二〇
品川弥二郎書翰	二〇
曾禰荒助書翰	二
杉孫七郎書翰	三
周布公平書翰	三
高橋是清書翰	三
高崎正風書翰	三
高島鞆之助書翰	三
竹島成貞書翰	三
田中義一書翰	三
田中不二磨書翰	三
田中光顯書翰	三
寺内正毅書翰	三
徳大寺実則書翰	六

徳川家達書翰	二七
上原勇作書翰	二七
内海忠勝書翰	二七
若槻礼次郎書翰	二七
渡辺廉書翰	二七
渡辺千秋書翰	二七
山県有朋書翰	三〇
山本権兵衛書翰	三七
芳川顕正書翰	三七
宋秉峻書翰	三八
李容植書翰	三八
その他の	三八
欧文書翰	三八

書類の部

桂太郎自伝稿本並参考資料	元
山県有朋意見書	五一
桂太郎覚書類	五一
桂家累代文書	五三
桂太郎葬儀関係書類	五九
附 録	
桂太郎略年譜	六〇

桂太郎発書翰の部

明石元二郎宛書翰ほか…………… 六二

附 録

解 説（宇野俊一）…………… 六五

桂太郎略年譜…………… 八四

書翰の部

一、天岡直嘉書翰

1 明治四三年 七月二九日

曾禰荒助叙勲

1 R 0001

二、青木周蔵筆

1 明治四三年 月 日 (仏文)

朝鮮国王退位宣言案 皇室典範改正案

0006

三、荒川邦蔵書翰

1 明治一三年^(九) 一月一六日

調査依頼回答 山県有朋 平田東助

0014

四、有松英義書翰

1 明治四四年 六月二四日

府県會議員選舉期日 附、府県會議員総選舉定期改選期日

0021

五、浅井道博書翰

1 明治一三年^(九) 九月二四日

熊本鎮台演習

0027

六、後藤新平書翰

1 明治四一年 二月一日

病氣快癒帰京報知 法庫門鉄道敷設報告書送致

0032

2 明治四一年 八月 日

満洲政策意見 関東都督府官制改正

0038

3 明治四二年 一月 九日

病氣快癒帰京 日本製糖問題

0044

4 明治四二年^(九) 二月一四日

中村是公満洲防疫従事 関東都督卜錫総督ノ意志投合

0051

5 明治四二年 二月二七日

電気事業案原敬へ内議

0057

6 明治四二年 五月二一日

東京電鉄市有問題 新電灯反对運動 政友会地方遊説

0076

7 明治四二年 五月二八日

東京電鉄市有問題 病氣快癒帰京

0084

8	明治四二年	七月	日他筆(加筆)	旅順開港 満鉄全權掌握ノ意見	1 R 0090
9	明治四二年	七月	日他筆(加筆)	東京電鉄市有 市債募集意見	0097
10	明治四三年 ^(カ)	二月二三日	病氣、輕快	製図 龍居頼三	0101
11	明治四三年	四月一五日	病状報告	通信省新築移転	0108
12	明治四三年	六月八日	拓殖局設置	中央線巡視 佐久間左馬太上京	0114
13	明治四三年	八月一日	台湾總督府民政長官人選	佐久間左馬太 中村是公 北陸鐵道巡視 宮尾舜治	0121
14	明治四四年	一月七日 ^(カ)	阿部泰藏財政說批判		0132
15	明治四四年	一月一日	輕便鐵道補助法案	原敬 岸清一 伊藤大八 大岡育造	0139
16	明治四四年	二月二三日	緊急勅令始末	健康不十分	0147
17	明治四四年	四月二八日	拓殖局副總裁辭職	附、辭職願	0156
18	明治四四年	七月二五日	金一万円受領	黒岩周六呈書 東京電鉄問題 電車局長松本幹一二決定 德富猪一郎 尾崎行雄 平田東助	0162
19	明治四四年	八月三〇日	西園寺第二次内閣ノ閣員決定	同内閣閣僚候補名簿	0171
20	明治四五年	七月五日	桂太郎歐洲行警護		0177
21	大正元年	八月二八日	政局情報送附	附、政界情報	0184
22	大正元年	九月五日	政局情報送附	附、政界情報 二通	0192
23	大正元年	二月二四日	桂第三次内閣ノ組織		0205
24	大正元年	二月二四日	桂第三次内閣 附、本山彦一書翰	後藤新平宛	0218
25	大正元年	二月二〇日	施政方針演說協議	大浦兼武 附、施政方針演說草稿	0227
26	大正二年	二月一三日	山本第一次内閣	山本権兵衛政友会入党	0242
27	大正二年	三月一三日	不信任上奏案、政友会内訌		0248
28	明治年	一月四日	在独通信員プスタウ書翰ヲ転致		0256
29	明治年	一月五日	原敬訪問	満州銀行金融	0261
30	明治年	九月四日	杉山茂丸提案ヲ転致		0267

七、花房義質書翰

1 明治一三年 三月一五日

朝鮮赴任通訳採用

1 R 0272

八、橋本綱常書翰

1 明治 八年 八月二七日

奥国留学願

0275

2 明治一〇年 七月一五日

長崎軍団病院流行病治療 西南戦争出張 独国外科証書交附方交渉ヲ青木周蔵ニ依頼

0279

九、檜 了介書翰

1 明治 年 八月一九日

会見打合セ

0283

一〇、平田東助書翰

1 明治 年一二月一九日

独逸同学士会同

0286

2 明治四一年 九月一九日

ジャパン・ヘラルド紙記事処分 神宮正遷宮参列 予算編成 御木本真珠養殖場視察 桑原芳樹

原芳樹

0289

3 明治四一年一〇月三一日 (平田東助・大浦兼武連署)

関税改正問題 英国ト協議

0300

4 明治四二年 四月二九日

病状報告 日本製糖事件

0308

5 明治四二年一二月 七日

陸軍大演習供奉 英国元帥招待 伊藤博文薨去 平田栄二結婚宴招待

0314

6 明治四三年 二月 七日

予算編成 井上馨ノ横山三郎依頼 小松原英太郎 野田卯太郎 阿里山問題 関門海峡問題 病氣

0321

7 明治四三年 七月二七日

病状報告 横浜市長 室蘭港埋立事件 社会主義事件 中橋徳五郎

附、長野県社会主義事件報告書 (平田東助・大浦兼武連署)

0329

8 明治四三年 八月 一日

荒川義太郎勅選 室蘭港埋立事件 秋田奥羽会出席中止 中橋徳五郎

附、明治四三年七月三〇日附 一木喜徳郎待罪書 室蘭港埋立事件

0346

9	明治四三年 八月 二日	荒川義太郎勅選 大阪市長就職 下岡忠治 中橋徳五郎	1 R	0353
10	明治四三年一〇月 一日	附、明治四三年七月三〇日附 中橋徳五郎書翰 荒川義太郎勅選 大阪市長就職		
11	明治四四年 一月 三日	臨時治水調査会設置 大浦兼武卜協議 附、臨時治水調査会役員名 治水工事予定表		0365
12	明治四四年 一月一七日	御沙汰書草案起草		0375
13	明治四四年 七月 一日	名古屋電氣鉄道会社紛糾 大逆事件公判警戒		
14	明治四四年 七月二四日	附、深野一三報告書 有松英義宛 名古屋電鉄事件	1 R	0381
15	明治四四年 七月二五日	京都大学問題 学制改定 小松原英太郎 菊池大麓		0008
16	明治四四年 八月 三日	黒岩周六書翰閲読 会社総会終了		0015
17	大正 元年二月頃	東京電車市営意見		0020
18	大正 元年二月 七日	政界情況 桂第二次内閣辭職 濟生会組織		0030
19	大正 元年二月一〇日	西園寺第二次内閣辭職 西園寺第二次内閣辭職 松方正義往訪 大浦兼武 平山成信		0040
		西園寺第二次内閣辭職 山県有朋往訪 松方正義組閣辭退 平山成信		0046
				0052

二、 広沢真臣書翰 船越 衛宛

1	明治 元年 九月 六日	降伏会津藩士処分 檜崎頼三、桂太郎洋学修業		0058
---	-------------	-----------------------	--	------

三、 土方久元書翰

1	明治四三年一〇月一三日	浅見綱斎贈位 伯子男議員選挙悪弊 阪谷芳郎 山県有朋 井上馨		0063
---	-------------	--------------------------------	--	------

三、 福原 実書翰 山県有朋宛

1	明治一一年二月二七日	陸軍少将任命 仙台鎮台司令長官拝命		0069
---	------------	-------------------	--	------

一四、 石部虎三書翰

1 明治 年 月二日

青木周蔵・野村靖ト面会

1 R 0077

一五、井上 光書翰

1 明治二九年 四月三〇日

陸軍改革案 児玉源太郎病氣 寺内正毅外遊希望 乃木希典上京 佐久間左馬太 野津道
貫 寺沢精 村井 黒田

0080

一六、井上 馨書翰

1 明治二九年 九月一三日

久原房之助ノ為ニ水野遵ニ電訓ヲ求ム

附、明治二九年九月 久原房之助電報写 桂太郎ヨリ水野遵ニ許可ノ電訓ヲ求ム

0085

2 明治二九年一〇月二日

桂太郎ノ台湾総督辞任 松方正義ニ斡旋

0090

3 明治二九年一〇月二〇日

益田孝ノ桂太郎ノ為ニ配慮

0096

4 明治三四年 六月三日

藤田四郎勅選依頼 曾禰荒助来訪 松平四郎會計検査院長ノ風評

0100

5 明治三四年 六月一六日

皇太子ニ葉山伺候 明晩ノ会合承諾

0105

6 明治三四年 六月二二日

外債ヲ米國ニ募集 曾禰荒助 阪谷芳郎 松尾臣善 杉山茂丸 アルビン 高平小五郎

0110

7 明治三四年 七月二二日

台湾定期航路拡張ニツキ田中太七郎ヲ紹介

0117

8 明治三四年 七月二六日

財政整理 伊藤博文 曾禰荒助 杉山茂丸

0122

9 明治三四年 七月二九日

外債募集 アルビン モルガン 伊藤博文

0127

10 明治三四年 七月三〇日

来訪ヲ求ム アルビン書翰

0135

11 明治三四年 八月一日

外債募集ノタメ官吏ヲロンドンヘ派遣 曾禰荒助

0139

12 明治三四年 八月九日

外債募集 財政整理 九州製鉄所 高平小五郎 曾禰荒助 杉山茂丸 和田維四郎

0144

13 明治三四年 八月二六日

日露会談 日英独同盟 朝鮮問題 伊藤博文ノ米露行 山県有朋 林権助

0151

14 明治三四年 九月六日

井上馨・山県有朋・伊藤博文・桂太郎ノ会談

0160

15 明治三四年 九月一日

伊藤博文・山県有朋・井上馨・桂太郎ノ会談

0167

16 明治三四年 九月一二日

外債募集 伊藤博文欧行 アルビン スチーブン 益田孝 都築馨六

0172

17	明治三四年一月二六日	日英独同盟 朝鮮問題 英独関係 伊藤博文ノ露国行 柴田家門	1 R	0179
18	明治三四年二月 四日	西郷従道・松方正義・井上馨会談 デニソン会見 伊藤博文ノ露国通信 小村寿太郎		0185
19	明治三四年二月 九日	元老会合 伊藤博文電報 松方正義		0190
20	明治三五年 一月二五日	財政方針協議 曾禰荒助		1194
21	明治三五年 二月 二日	銀行条例改正ノ意見 英皇帝戴冠式ニ小松宮御差遣隨行希望 皇太子ノ井上邸行啓 日英同盟 山県有朋 松方正義		1199
22	明治三五年 四月一〇日	洪沢栄一清国行 閣僚実業家ノ招待 山口県行ノ意図 曾禰荒助 田健治郎 柴田家門		1210
23	明治三六年 一月二四日	意見書送附 伊藤博文訪問 博文・山県有朋会見		1215
24	明治三六年 六月二一日	参内ノ御沙汰問合セ		1221
25	明治三六年二月一五日	伊藤博文・山県有朋・松方正義・井上馨等会談		1225
26	明治三六年 ^(カ) 二月二〇日	林権助朝鮮公使交迭 智利軍艦事件 ロード・セルホン返電 ビツカース 小室三吉		1229
27	明治三六年一二月三〇日	附、明治 年一二月二〇日 セルホン電報		
28	明治三七年 二月 一日	対露対清満州問題意見 伊国軍艦購求 外債借入密約 長島隆二渡英 軍備補充費 京釜		1235
29	明治三八年 一月一六日	鉄道速成費 贈遣謝辞 栗野慎一郎 山県有朋 伊藤博文 林権助		1244
30	明治三八年 二月一六日	内相選定 地方官会議 芳川顕正 伊東巳代治 野村靖 松方正義		1249
31	明治三八年 ^(カ) 七月 二日	日露戦役 公債募集 松尾臣善来訪 財務官駐英米 阪谷芳郎内談 日進春日ノ購入		1258
32	明治三八年一〇月 一日	財務官駐英 首相外相蔵相並ニ次官日本銀行正副總裁ノ会合 外債募集 高橋是清英国派		1265
33	明治三八年 ^(カ) 一月 八日	遣 林権助 日進春日両艦到着 新聞議員利用ノ秘密費		0007
34	明治三八年 ^(カ) 一月二二日	会食辞退 安田家財政周旋 桂太郎曾禰荒助ト会見ヲ求ム	2 R	0002
35	明治三八年 ^(カ) 一月二二日	コイトゲン事件 興業銀行条令 京釜鉄道元利保証 添田寿一 阪谷芳郎		0013
36	明治四〇年一月一二日	予算ニ関スル意見 山県有朋 曾禰荒助 田中光顕 阪谷芳郎 松尾臣善		0017
		教育報告ノ翻譯 田健治郎		0022
		日清銀行問題 横浜正金銀行 袁世凱		
		石碑文揮毫依頼 杉孫七郎		

37	明治四一年	一月一〇日	政局協議 原敬ト会見 伊藤博文 阪谷芳郎 山県伊三郎 西園寺公望	2 R	0027
38	明治四一年	一月一二日	政局協議 桂太郎西園寺公望・伊藤博文ト会談		0034
39	明治四一年	一月一四日	外債募集 首相回答 西園寺公望 高橋是清 若槻礼次郎		0040
40	明治四一年	四月二八日	西園寺公望・桂太郎ト会談希望 竹田宮恒久王御婚儀		0044
41	明治四一年	六月二日	西園寺公望ト会談 公望ノ首相辞意		0050
42	明治四一年	七月四日	西園寺公望ノ首相辞任 山県有朋 松方正義 都築馨六		0055
43	明治四一年	七月五日	桂太郎組閣打合セ 山県有朋 西園寺公望		0060
44	明治四一年	八月六日	四十二年度予算意見		0066
45	明治四一年	八月一六日	財政整理意見 古河家幹旋 軍需品外国注文繰延 水町袈袈六 勝田主計 長島隆二		0078
46	明治四二年	二月二日	伊藤博文・井上馨・桂太郎ノ会談 公債整理		0085
47	明治四二年	二月八日	都築馨六ノ枢府推挙 西園寺公望 野田卯太郎		0091
48	明治四二年	二月二二日	伊藤博文病氣 貴族院ノ予算議 橋本綱常 西園寺公望		0096
49	明治四二年	三月一日	財政計画意見 予算案通過意見 政友会ノ態度 勝田主計 野田卯太郎		0102
50	明治四二年	六月二七日	公債償還計画		0109
51	明治四二年	一〇月二一日	桂三郎ノ井上勝之助養子承諾		0114
52	明治四三年	二月一〇日	日立鉾山視察 桂太郎ノ招待ニ応ズ		0118
53	明治四三年	八月二三日	東北地方水害 水害救助 日韓合併問題 諸外国条約改訂 小村寿太郎 井上三郎		0122
54	明治四四年	一月二五日	維新史料編纂会設置 文部省史談会 孝明天皇 小松原英太郎		0129
55	明治四四年	八月八日	東京暴風水害 政友会対策 中央新聞援助 西園寺公望 原敬 原田二郎 鶴原定吉		0136
56	明治四五年	三月二二日	杉孫七郎病氣 山県有朋書状		0144
57	大正元年	二月一九日	第三次内閣組織 西園寺公望会談 中央新聞		0150
58	大正二年	八月二二日	病氣見舞		0156

1 明治一五年二月五日

地学協会加入謝絶

2 R 0162

一八、伊藤博文書翰

1 明治二九年 月二一日
2 明治二九年 七月一七日

前夜会談 大隈重信病氣会議延期 贈遣
巖本善治等意見書ノ回附

0168

3 明治二九年一〇月一六日

附、明治二九年七月一七日 巖本善治・押川方義意見書 伊藤博文宛 台湾統治ニ基督
教活用 大日本海外教育会ノ朝鮮教育意見
台湾總督辭任 乃木希典總督拝命 山県有朋会談

0173
0187

4 明治三一年 三月一六日

結婚披露宴ニ応招

0194

5 明治三五年 九月二一日

招宴辭退 毛利公爵家々政会議

0198

6 明治三五年一〇月二〇日

徳川慶喜、西郷寅太郎叙爵賜金ニ宮内省反対 松方正義周旋

0203

7 明治三六年 五月一一日

山県有朋書翰回附 政友会ノ態度 露国ノ満州動静ヲ危惧

0211

8 明治三六年 五月二一日

會計法修正案ニ政友会妥協 曾禰荒助・伊東巳代治・末松謙澄ノ折衝

0218

9 明治三六年 五月二〇日

地租増徴案否決 衆議院停会 清浦奎吾周旋 伊東巳代治不服

0226

10 明治三六年 五月二一日

政府政友会妥協ノ形勢

0232

11 明治三六年 五月二一日

衆議院休会形勢ヲ政友会ニ忠告 大浦兼武 菊池大麓 平田東助

0241

12 明治三六年 六月二三日

参朝下命 首相官邸参集 山県有朋 徳大寺実則

0249

13 明治三六年 七月一二日

枢相拝命ノ上奏

0257

14 明治三六年 八月四日

栗野慎一郎電報披見 樺山資紀北支満州巡歴希望 井上馨・洪沢栄一南支巡歴計画

0262

15 明治三六年 八月二四日

杉山茂丸来訪 井上馨会談企図

0270

16 明治三六年 八月三〇日

曾禰荒助会談 日光ニ天機奉伺 井上馨ノ航遊中止勧告ヲ受諾

0277

17 明治三六年 一月三〇日

病氣見舞 神宮参拝 山県有朋会談 会談ヲ要請

0283

18 明治三六年 二月一五日

外交問題ノ元老会議 山県有朋協議

0291

19 明治三七年 二月八日

韓国駐屯軍編成御下問 寺内正毅・小村寿太郎協議 林樵助京城増兵要求 日露戦役

0291

20	明治三十七年十一月二七日	附、明治三十七年三月 寺内正毅・大山巖上奏案 韓国駐屯軍編成 憲政党集会ノ大隈重信外交財政演説評 日露戰役進行 松方正義・井上馨・小村寿太郎ノ 協力ヲ求ム	0309
21	明治三十七年十一月二八日	大隈重信財政演説ノ影響ヲ憂慮 松方正義態度評	0316
22	明治三十七年二月一三日	前日会談 神宮参拝 詩ヲ贈ル	0323
23	明治三十七年九月一三日	桂太郎・西園寺公望会談 小村寿太郎ニ斡旋	0332
24	明治三十八年二月一三日	青木周蔵病氣同伴不能 日英同盟	0337
25	明治三十八年二月一八日	日英同盟 青木周蔵回答無シ	0342
26	明治三十八年三月一三日	児玉源太郎呼寄 外債募集 井上馨会談 山県有朋会见 岡沢精来訪御下問 日露戰役	0347
27	明治三十八年五月一日	日英同盟ニ関スル桂太郎・青木周蔵・小村寿太郎・伊藤博文・英公使ノ動靜	0353
28	明治三十八年八月八日	元老会議ノ意見	0360
29	明治三十八年九月一六日	日比谷暴動ノ対処意見 内閣辞表却下	0367
30	明治三十八年九月二三日	内山良平カムチャツカ渡航計画ニ益田孝・伊藤博文・島村速雄・仏国公使・外務省ノ援助	0378
31	明治四一年三月一〇日	井上馨西下 西園寺公望会见 東洋拓殖会社設立ノ意見 病氣静養	0386
32	明治四一年五月六日	附、東洋拓殖会社意見書二通	0397
33	明治四一年六月一日	韓国暴動増兵 東洋拓殖会社 清国近況 後藤新平 寺内正毅 曾禰荒助 韓国政情暴動情況 曾禰荒助帰任遅延 財政問題ハ井上馨ト協議必要 国内政情 宇佐川 一正帰朝 西園寺公望・井上馨ノ通信無シ	0404
34	明治四一年六月一七日	韓国閣僚ノ東洋協会入会ノ勧誘	0413
35	明治四一年八月一日	若槻礼次郎ノ外債募集報告 桂太郎往訪	0418
36	明治四一年一〇月五日	長谷川好道越権 曾禰荒助・宋秉峻ノ書簡 李容九 寺内正毅 荒井賢太郎 勸業銀行	
	明治四一年九月三〇日	附、曾禰荒助書翰 長谷川好道越権 李鐘浩 井上馨病氣見舞	0424
	明治四一年一月一〇日	附、宋秉峻書翰 李容九弉護 一進会 内田良平	0442
37	明治四一年二月六日	韓国一進会処分 曾禰荒助・桂太郎・寺内正毅ト協議	

38	明治四一年二月六日	日米協商発表 清朝光緒帝西太后崩御ト政情 張勳・袁世凱ノ動向 対清意見 韓国政情	2 R 0446
39	明治四一年二月二日	小村寿太郎 奎完用・宋秉畯辭職 拓殖会社認可 長谷川好道ノ朝鮮軍司令官辭職ト其待遇 陸軍移動 一進会 岡沢精・井上光ノ死 井上馨重病回復 山県有朋近情	0459
40	明治四二年 一月二五日	韓国皇帝巡狩 曾禰荒助病氣 長谷川好道歸朝 附、一月二九日 伊藤博文電報案 首相ニ謝電	0467
41	明治四二年 四月 六日	議會操縦ヲ西園寺公望ヨリ聞ク 小林寿太郎ノ來訪対支外交ヲ聞ク 会见ヲ求ム	0477
42	明治四二年 五月二〇日	大隈重信処遇ト山県有朋意見	0484
43	明治四二年 五月二一日	韓国統監辭表奉呈	0492
44	明治四二年 七月 三日	(桂太郎・小村寿太郎宛) 韓国司法權委託意見ト御下問 曾禰荒助ト協議	0497
45	明治四二年一〇月 一日	井上馨・同勝之助ノ家事 洋行希望	0505

一九、岩倉具定書翰

1	明治三二年二月二八日	岩倉具定ノ侍從職幹事辭任 時事新報ノ岩倉具定評謗記事 附、時事新報切抜	0515
2	明治三五年 二月二四日	山本権兵衛・曾禰荒助・清浦奎吾・菊池大麓・平田東助・小村寿太郎・林重受爵叙爵親授式 山県有朋、松方正義ト協議	0523
3	明治三五年 二月二四日	叙爵親授式 山県有朋、松方正義ト協議	0529
4	明治三五年 二月二五日	爵位勲章親授式 御陪食	0537
5	明治三五年二月一六日	原保太郎勅選	0545
6	明治三七年 二月 二日	御前會議	0552
7	明治三七年 二月 四日	伊藤博文御召	0557
8	明治三七年 二月 六日	陸海軍ニ勅語御下賜	0562
9	明治三七年 六月 九日	洪沢栄一病氣慰問御下賜品 附、御沙汰書写	0567
10	明治三八年 ^(カ) 二月一七日	勅語案協議 伊藤博文	0574
11	明治三九年 七月二〇日	病氣見舞御下賜品	0580

12	明治四二年 ^(カ)	八月三日	大阪大火御救恤 平田東助内奏 小村寿太郎参内	2 R	0585
13	明治四二年	二月一七日	枢密顧問官親任式		0591
14	明治四三年 ^(カ)	一月二三日	時局奏上参内		0597
15	明治四四年 ^(カ)	八月三日	鷺尾隆聚叙勲周旋依頼		0603
16	明治	一月一九日	就職依頼	3 R	0002
17	明治	二月一六日	面会ヲ求ム 伊藤博文面会ヲ求ム		0005
18	明治	二月二〇日	山県有朋上京問合セ		0011
19	明治	二月二一日	田中光顕ノ伊藤博文訪問		0017
20	明治	三月五日	皇太子嘉仁親王大本營付 岡沢精 山県有朋		0025
21	明治	三月九日	宮内次官同意通告		0031
22	明治	三月一四日	桂太郎、山本権兵衛、小村寿太郎、曾爾荒助、寺内正毅、大山巖、伊東祐亨慰勞御下賜品		0036
23	明治	三月二八日	奏上通知		0043
24	明治	四月五日	御陪食		0048
25	明治	四月一九日	皇后閣僚ニ酒肴御下賜		0053
26	明治	五月二日	上奏始末 侍従長・宮相協議		0059
27	明治	五月三日	上奏案始末 宮相・侍従長協議 伊藤博文直奏		0065
28	明治	五月九日	上奏案始末問合 伊藤博文奏上		0073
29	明治	五月二九日	伊藤博文御召ノ電報 附、伊藤博文電報写 召命拝受		0079
30	明治	六月一四日	会合奏上		0085
31	明治	九月二六日	山県有朋書翰転致 桂太郎ト大山巖会见		0090
32	明治	九月二九日	宮内次官同意通告		0093
33	明治	年一〇月二一日	山本権兵衛、伊東祐亨拝謁		0098

1 明治 年 九月 七日 細谷海軍中将勅選 齋藤実協議 3 R 0104

三、香川敬三書翰

1 明治四四年 二月一〇日 岩倉具定一年祭 岩倉具張身上依頼 0111

三、加藤高明書翰

1 大正 元年二月二日 外相就任承諾 0119

三、川崎祐名書翰

1 明治 年二月一四日 陸軍費協議 0126

三、梶山昇介書翰

1 明治一二年 四月三日 厦門通信 0131

三、木戸孝允書翰

1 明治 九年 六月一日 鉄砲送附謝辞 品川弥二郎ノ動静 奥羽巡幸供奉 0136

三、木越安綱書翰

1 大正 二年 二月一六日 陸相進退 師団増設問題 0142

三、清浦奎吾書翰

1 明治四一年 七月一五日 桂第二次内閣成立 入閣拒絕弁明 0148

三、児玉源太郎書翰

1	明治 年 月二二日	意見書提出 大磯訪問	3 R 0155
2	明治二九年 一月二九日 (岡沢精連署)	風月会規約書送附	0159
3	明治三一年 七月一〇日	山口素臣問題 台湾施政	0164
4	明治三四年一〇月一七日	台湾警察制度 後藤新平ノ民政長官交迭云々 土匪蜂起	0170
5	明治三四年一〇月二一日	台湾官制改革 統治実情 柴田家門	0179
6	明治三四年一月九日	外債募集失敗 馬蹄銀一般歳入組入 北白川宮妃台湾御渡航 台湾総督兼任辞意	0185
7	明治三五年 一月一四日	外国人土地所有問題	0195
8	明治三五年 三月一九日	田村怡与造ヲ参謀次長ニ推薦 大山巖	0201
9	明治三五年 ^(カ) 五月一六日	カムチャツカ金鉦調査 英人アイノー談話	0207
10	明治三五年 九月一八日	教科書事件	0211
11	明治三六年 月二六日	日露開戦準備 山県有朋	0216
12	明治三七年 一月一六日	日露開戦準備	0221
13	明治三七年 二月一六日	山県有朋ノ大本営付任命	0227
14	明治三七年 三月九日	朝鮮派兵計画 附、朝鮮派兵計画書	0233
15	明治三九年 三月二二日	六三問題尽力依頼 西園寺公望 原敬	0239

元、小松英太郎書翰

1	明治四三年 五月三一日	生産調査会議案	0246
2	明治四三年一〇月二二日	学制改正問題 江木千之 伊沢修二 辻新次	0254
3	明治四四年 二月二五日	南北朝問題	0261
4	明治四四年 六月二一日	学制改正案 金子堅太郎 病状報告	0267
5	明治四四年 六月二五日	学制改正案ヲ枢相ト協議 病氣見舞辞謝 安広伴一郎	0277
6	明治四四年 六月二九日	岡村司懲戒処分 菊池大麓寛典希望 学制改正案 安広伴一郎	0284
7	明治四四年 七月四日	岡村司懲戒処分 菊池大麓	0290

8	明治四四年	七月一六日	教科書審査委員会	南北朝問題	井上通泰	井上哲次郎	芳賀矢一	萩野由之	穂積八束	3 R	0299
9	明治四四年	七月一九日	船越衛	大島少将	加藤弘之						
10	明治四四年	七月二〇日	南北朝問題	教科書審査委員会	附、修正案						0306
11	明治四四年	七月二二日	岡村司懲戒処分	菊池大麓辞任	附、岡村司譴責ノ新聞記事						0314
12	明治四四年	七月二六日	教科書審査委員会	南北朝問題							0323
13	明治四四年	八月一二日	教科書審査委員会	南北朝問題							0327
14	明治四四年	九月一日	手島精一勅選	浜尾新枢密顧問官							0334
15	明治 年	五月二七日	学制改正問題								0340
東京大学ニ商科大学設置問題											
浜尾新協議											
洪沢栄一協議											
0344											
三、児島益謙書翰											
1	明治一三年 ^(九)	九月二日	軍制								0354
三、九鬼隆一書翰											
1	明治四四年	三月四日	南北朝問題	小松原英太郎文相辞任	服部一三文相推薦	岡田良平	久保田譲	浜尾新			0357
2	明治四四年	三月四日	南北朝問題								0368
三、黒田久孝書翰											
1	明治 年	八月一五日	三浦自孝転任								0388
三、松方正義書翰											
1	明治三四年	六月一日	内閣組織								0394
2	明治 年	七月一〇日	山県有朋卜共ニ往訪								0399
3	明治三四年一〇月二六日		外債募集意見	曾禰荒助	松尾臣善						0404

4	明治三四年二月一日	歸京要求ニ応諾	3 R	0420
5	明治三四年二月九日	井上馨・西郷従道・桂太郎・松方正義会合		0416
6	明治三六年二月一日	対露問題 押川則吉身上依頼		0421
7	明治三六年二月八日	対露問題		0427
8	明治三六年二月一日	対露問題 議会動静		0432
9	明治三七年二月五日	日露戦役 海軍行動 旅順艦隊動静		0437
10	明治三八年六月一八日	元老会議応招		0443
11	明治三八年六月一八日	日露講和談判		0449
12	明治三八年六月一九日	元老会議 日露戦役		0454
13	明治三八年六月二〇日	閣議会議ノ結果問合セ		0459
14	明治三八年七月一日	元老会議応招		0464
15	明治三八年一月二五日	元老会議応招		0468
16	明治四一年七月五日	桂第二次内閣組織		0473
17	明治四一年七月六日	桂第二次内閣組織 松方正義鎌倉行 井上馨大磯行 徳大寺実則・伊藤博文電報往復 大浦兼武		
18	明治四一年七月一〇日	桂第二次内閣組織		0477
19	明治四一年七月一三日	桂第二次内閣組織		0483
20	明治四一年一〇月三日	予算閣議決定 財政計画		0488
21	明治四二年六月一六日	島津健之助授爵		0492
22	明治四二年二月一三日	伊瀬地好成勅選 平田東助来訪		0498
23	明治四三年一月三一日	公債募集		0502
24	明治四三年二月二日	公債借替問題		0507
25	明治四三年二月一日	四十三年度予算意見 公債募集		0513
26	明治四三年六月二〇日	拓殖局設置		0518
				0523

27	明治四三年	七月二五日	田中市兵衛叙位	3 R	0528
28	明治四二年	九月一〇日	牧野仲顕貴族院議員希望		0532
29	明治四三年 ^(九)	八月二九日	依頼ノ件宮相同意ノ謝辞		0536
30	明治四四年	七月一〇日	寺原長輝ヲ貴族院議員ニ推薦	平田東助	0540
31	明治四四年	九月三日	首相辞任ニ対スル挨拶		0544
32	大正元年一二月	九日	来訪謝辞	別封送付	0549
33	大正二年	一月二〇日	議會再開紛争ヲ憂慮		0553

三、三好重臣書翰

1	明治一二年	二月一六日	野宮演習	行軍規則	斎藤幹書翰	大阪近況報知	0559
2	明治一二年	三月二七日	大阪近況報知	片岡健吉出版	播磨野營地ニ出張	地学協會設立入会希望	0561

三、毛利元徳書翰

1	明治二九年	六月五日	台灣總督就任祝詞				0567
---	-------	------	----------	--	--	--	------

三、陸奥宗光書翰

1	明治二九年	二月二一日	檜原陳政紹介				0573
---	-------	-------	--------	--	--	--	------

三、新山春太郎書翰

1	明治	年一一月二八日	林氏宅集会				0577
---	----	---------	-------	--	--	--	------

三、西 周書翰

1	明治一三年一二月	四日	師團編制略則起草				0581
---	----------	----	----------	--	--	--	------

三、野村 靖書翰

- | | | | | |
|---|-------------|-------------------------------|-----|------|
| 1 | 明治二九年 七月三〇日 | 笹森儀助紹介 | 3 R | 0585 |
| 2 | 明治三五年 二月二五日 | 衆議院解散意見 附、御沙汰案 | | 0589 |
| 3 | 明治三六年 二月一日 | 衆議院ノ政府弾劾決議 衆議院解散後ノ詔勅案提示 附、詔勅案 | | 0596 |
| 4 | 明治三七年 四月二三日 | 中村元嘉、勝間田悦介、古沢滋勅選推薦 | | 0603 |
| 5 | 明治三七年 八月一九日 | 新聞記事処置協議 本野一郎 足立某 | | 0609 |
| 6 | 明治 年 九月一四日 | 約束ノ件報知ヲ求ム | | 0615 |
| 7 | 明治 年 九月一五日 | 黒田清隆、西郷従道ノ使者 | | 0618 |

四、小川又次書翰 堀口芳介宛^(カ)

- | | | | | |
|---|-------------|--|--|------|
| 1 | 明治 九年 九月二三日 | 熊本赴任近況報告 虎烈刺病流行 矢野俊男書翰写回示 相愛社・看光社・向陽社・神風連ノ動靜 附、明治九年八月二一日付 矢野俊男書翰 池松豊記宛 | | 0622 |
|---|-------------|--|--|------|

四、岡部長職書翰

- | | | | | |
|---|-------------|--------------------------|--|------|
| 1 | 明治四一年 七月一四日 | 桂第二次内閣組織 法相親任 | | 0630 |
| 2 | 明治四二年 一月一三日 | 病氣見舞 法案協議 横田国臣 松室致 平沼騏一郎 | | 0635 |

四、大谷光尊書翰

- | | | | | |
|---|-------------|----------------|--|------|
| 1 | 明治三五年 二月二一日 | 大谷光沢追賞願 二宮義胤斡旋 | | 0641 |
|---|-------------|----------------|--|------|

四、大谷光瑞書翰

- | | | | | |
|---|------------|------|-----|------|
| 1 | 明治 年一〇月 三日 | 草案供閱 | 4 R | 0002 |
|---|------------|------|-----|------|

四、大浦兼武書翰

4 R 0006

0012

0018

0023

0030

1 明治三四年 九月一九日 参謀総長辞意 義和団事変 山県有朋

0042

0047

0052

0057

6900

0062

5900

8900

0072

0075

007

9	明治三十九年 七月 三日	小村寿太郎送別会ニ招請	4 R 0082
10	明治三十九年 一月 五日	招宴 曾禰荒助	0085
11	明治三十九年 一月 四日	陸軍予算協議 阪谷芳郎	0088
12	明治三十九年 一月 二五日	陸軍予算協議 阪谷芳郎 寺内正毅	0091
13	明治三十九年 二月 三日	陸軍予算協議 寺内正毅 齋藤実 阪谷芳郎	0094
14	明治四〇年 二月 三日	病氣ノ為ニ会合不参	0097
15	明治四〇年 三月 三日	四十年度予算案 北海道山林経営 阪谷芳郎 原敬	0100
16	明治四〇年 三月 六日	桂太郎意見遂行 寺内正毅 桂太郎旅行 後藤新平随行	0104
17	明治四一年 一月 四日	辞表却下 勅語下賜 寺内正毅 松田正久 原敬 山県有朋 松方正義 井上馨	
		附、明治四一年一月一日 勅語 辞表却下	
18	明治四一年 一月 五日	附、明治四一年一月一日 御沙汰書 各相留任	0107
19	明治四一年 一月 五日	辞表却下ノ勅語 山県有朋 井上馨 松方正義	0113
20	明治四一年 三月 八日	鐵道予算 松田正久	0116
21	明治四一年 七月 四日	伊藤博文訪問	0119
22	明治四一年 一〇月 八日	首相辞表捧呈 桂太郎ヲ首相ニ奏薦 山県有朋 伊藤博文 井上馨 徳大寺実則	0122
23	明治四一年 一〇月 二一日	桂太郎ノ陸軍大演習行幸供奉	0126
24	明治四二年 一月 一八日	財政外交方針賛成 米艦歡迎	0129
25	明治四二年 二月 二日	政友会協議会病氣不参 野田卯太郎	0133
26	明治四二年 四月 二日	西園寺八郎ヲ秘書官ニ採用 伊藤博文 井上馨	0138
27	明治四三年 二月 一八日	招請応諾	0142
28	明治四三年 四月 一五日	伯爵同志会ノ件ニツキ小笠原長幹紹介	0145
29	明治四三年 ^(カ) 四月 二八日	招請応諾	0148
30	明治四四年 二月 七日	招宴	0152
		政友会卜情意投合	0155

- | | | | |
|----|-------------|---------------------|----------|
| 31 | 明治四四年 六月 五日 | 済生会設立 西園寺八郎 | 4 R 0160 |
| 32 | 明治四四年 六月 七日 | 住友吉右衛門ノ済生会寄附金 鈴木馬左也 | 0163 |
| 33 | 明治四五年 五月二九日 | 桂太郎欧洲巡遊 | 0166 |

四、齋藤 実書翰

- | | | | |
|---|-------------|----------------------------------|------|
| 1 | 明治四一年 八月二〇日 | 海軍費繰延協議 水町袈裟六 | 0170 |
| 2 | 明治四三年一〇月 七日 | 大型駆逐艦進水式ニ出張 | 0175 |
| 3 | 明治四三年一月一八日 | 楠保丸解体 姉川、笠戸丸編入 将官会議 | 0180 |
| 4 | 明治四三年二月一四日 | 小森沢長政勅選推薦 附、小森沢長政履歷書 | 0185 |
| 5 | 明治四四年 六月一五日 | 小森沢長政・奈良真志・坂本俊篤ヲ勅選ニ推薦 山内中将高木氏ト会見 | 0193 |

四、柴田家門書翰

- | | | | |
|---|------------|---------|------|
| 1 | 明治 年 一月一七日 | 別封送致ノ知セ | 0200 |
|---|------------|---------|------|

五、滋野清彦書翰 桂太郎・堀口芳介宛

- | | | | |
|---|-------------|---------|------|
| 1 | 明治一四年 六月二四日 | 検閲条例改正案 | 0204 |
| 2 | 明治一四年 七月 三日 | 鎮台条例改正案 | 0206 |

五、品川弥二郎書翰

- | | | | |
|---|-------------|---------------------------------|------|
| 1 | 明治一二年一月二五日 | 横山某依頼 附、横山某書翰 | |
| 2 | 明治二九年 七月三一日 | 中沢岩太郎紹介 | 0210 |
| 3 | 明治二九年 八月 三日 | 古莊嘉門転任依頼 台湾鉄道秘密条約 山県有朋 牧朴真 国民協会 | 0215 |
| 4 | 明治二九年 八月一九日 | 土屋達太郎推挙 井上馨 | 0220 |

5 明治二九年 九月 六日

内務省衛生局長後任推挙 後藤新平 長谷川泰 山根

0235

五、曾禰荒助書翰

1 明治 年 九月 五日

山沢氏面晤 伯林巴里滞在 青木周蔵

0242

2 明治一九年 六月二二日

井上馨・桂太郎・曾禰荒助面晤

0244

3 明治三五年 八月二三日

予算編成 通信省予算 ホノルル事件上奏

0249

4 明治三六年一二月二三日

外債募集

0254

5 明治三七年 二月 三日

巴里銀行家ノ日本入資 附、電報

0259

6 明治三七年 六月一八日

内国債募集 松尾臣善 安田善次郎 井上馨 杉孫七郎 百三十銀行

0264

7 明治三七年 七月 九日

内国債募集 松尾臣善 井上馨 正金銀行 百三十銀行

0267

8 明治三八年 六月一七日

軍用切符整理処分 井上馨

0276

9 明治四一年 一月 八日

拓殖会社法案 朝鮮暴動鎮静 酒井才二郎推挙

0281

10 明治四一年 一月一九日

拓殖会社ト韓国法 伊藤博文

0286

11 明治四一年 九月二八日

馬政局長官辞任

0291

12 明治四一年一〇月一四日

拓殖会社副総裁人選 吉原三郎

0296

13 明治四一年一〇月二七日

拓殖会社

0302

14 明治四二年 三月二九日

韓国近況 日清交渉ニ伊藤博文ヲ依頼

0309

15 明治 年 秋 二四日

岡田治衛武援助

0314

16 明治四二年 七月一六日

中央新聞社補助 大岡育造 伊藤博文 寺内正毅

0319

17 明治四二年 九月一四日

一進会・大韓協会・西友会ノ合併 朝鮮政局

0324

18 明治四二年一二月二二日

朝鮮政情 朝鮮暴動 間島問題 兎玉秀雄身上 北鮮警備

0332

19 明治四三年 一月一七日

日韓合併

0338

20 明治四三年 三月 一日

日韓合併 病状報告 岡市之助

0343

21 明治四三年 四月二日 4 R 0347 病状報告 朝鮮統監進退 平井政道
22 明治四三年 五月一日 0352 朝鮮統監辭任願 岡喜七郎 轉職依頼 菊池院長勅選依頼

三、杉孫七郎書翰

1 明治四三年 夏 0359 桂太郎稿ノ木戸孝允書翰跋文ニ西園寺公望賛成
2 明治 年 二月 七日 0364 進十六勅選推薦

四、周布公平書翰

1 明治 年 一月 四日 0369 原敬ニ伝言ヲ伝達

五、高橋是清書翰

1 大正 二年 二月二日 コツホ書翰 轉致 附、大正二年一月四日 コツホ (W.koch) 書翰 (写)

六、高崎正風書翰

1 明治四三年一〇月 一日 0374 山本復一功績表彰依頼 西園寺公望 岩倉具定
附、明治四三年九月七日付 山本復一書翰 高崎正風宛 功績表彰 岩倉具定伊藤博文
ニ依頼 0381

2 明治 年 一月 七日 0388 田辺新之助紹介

七、高島鞆之助書翰

1 明治 年 月三〇日 0394 藤島正健勅選推薦

八、竹島成貞書翰

1 明治十二年 九月二十五日 国内軍状等報告 4 R 0398

五、田中義一書翰

1 大正 元年二月一七日 桂第三次内閣成立 二個師団増設問題 寺内正毅 上原勇作 0401

六、田中不二麿書翰

1 明治一六年^(九)一〇月二〇日 東京外国語学校清語生徒需用 内村良蔵 0409
2 明治三七年 二月一八日 捕獲審檢令改正案 0411
3 明治三七年 二月二二日 往訪打合セ 0415

六、田中光顕書翰

1 明治一七年 九月 六日 外遊中ノ国情通知 0420
2 明治三四年二月一〇日 田中正造直訴 0422
3 明治三五年一月一五日 大演習賜宴臨御 病氣見舞 0427
4 明治三七年 四月 五日 伊藤博文韓国派遣 陪食 0429
5 明治三八年 七月三十一日 学習院長候補 伊藤博文・山県有朋・菊池大麓協議 0433
6 明治三八年^(九)九月一六日 小村寿太郎全權大使慰問 0437
7 明治四二年 三月三〇日 両院議員賜宴 有栖川宮威仁親王臨席予定 0441
8 明治四三年 五月 八日 大和義拳ノ水郡長義特典 北畠治房 0446
9 明治 年 六月二四日 渡辺千秋昇叙 附、桂太郎推挙状案 0451

六、寺内正毅書翰

1 明治二九年 三月 三日 児玉源太郎病氣 寺内正毅軍務局長代理 陸軍拡張案ニツキ貴族院紛議 山県有朋洋行 0459
2 明治三七年 二月一七日 平井政道 日露戦役 議會開会場所 大本營転進時期 児玉源太郎ト協議 0465

3	明治三十九年一月二〇日	陸軍予算書内示 西園寺公望ト協議	
	明治三十九年一月二〇日付別啓	西園寺首相ト陸軍予算協議 公望・井上馨・桂太郎ノ会談 南滿洲鐵道会社委員會開催	
4	明治三十九年二月一日	陸軍予算案 二年現役制実施 西園寺公望 阪谷芳郎 山県有朋 大山巖	4R 0470
5	明治四〇年二月四日	陸軍予算ヲ西園寺公望ニ申入事情 山県有朋病氣 柏田盛文 平井政道	0480
6	明治四〇年二月六日	滿鉄總裁御陪食ニ首相同意 財政計画ヲ西園寺公望ト協議事情 井上馨邸会合 原敬 阪谷芳郎 首相・藏相・陸相協議	0487
7	明治四一年八月二四日	田嶋氏ニ指示ヲ求ム	0494
8	明治四一年一月一九日	奈良県下大演習ヨリ還幸 桂太郎供奉 長谷川好道書翰転致	0500
9	明治四一年二月二六日	陸海軍予算ニツキ参謀總長・軍令部長会議	0505
10	明治四二年七月三〇日	外松孫太郎ノ經理局長辞任叙勲 曾禰荒助書翰転致 佐分利・菊池ノ容体書送附	0508
11	明治四二年二月八日	朝鮮暴動 曾禰荒助ノ処置 杉山茂丸書翰同封	0513
		附、明治四二年二月八日附 杉山茂丸書翰 朝鮮暴動 一進会動向 曾禰荒助ノ処置 内田良平 李完用 宋秉峻	0519
12	明治四二年二月一六日	大久保春野電報回附	
		附、明治四二年二月一五日附 大久保春野電報 日韓合併 一進会救護 宇佐川一正 明石元二郎 榊原昇造 李完用 石塚英蔵 曾禰荒助	0529
13	明治四三年一月三一日	大久保春野電報回附	
		附、明治四三年一月三一日附 大久保春野電報 朝鮮順川暴動	0535
14	明治四三年二月二三日	母死亡 宇多田義三 寺内寿一	0540
15	明治四三年六月八日	朝鮮統監府人事交迭 有吉忠一 宇佐美勝夫 岡喜七郎 平田東助 曾禰荒助	0546
16	明治四三年九月一〇日	東京秋田岩手ノ水害見舞 日韓合併 朝鮮近状 朝鮮施政 朝鮮總督府官制改正 李完用 山県伊三郎 石塚英蔵 宋秉峻 柴田家門	0552
17	明治四三年九月一五日	内地水害見舞 曾禰荒助死去 李王家ノ弔問 外国宣教師ノ動向 一進会解散 朝鮮ノ近	

18	明治四三年	一月三十一日	状 朝鮮総督府官制改正 李王家職制 山県伊三郎 渡辺千秋 宋秉峻 ハリスゲール	400	0560
19	明治四四年	二月二三日	野田卯太郎・安達謙蔵ト協議		0571
20	明治四四年	三月二〇日	南北朝正閏問題 桂三郎転勤		0575
21	明治四四年	五月二四日	高等警察ヘ印刷物ノ取締強化		0580
22	明治四四年	五月三十一日	朝鮮近状 趙電応帰着 徳富猪一郎渡鮮 李王家李完用近況 在鮮日本人動静 日韓併合 行賞 原敬 井上角五郎 山県伊三郎		0584
23	明治四四年	六月一日	朝鮮鉄道特別会計 朝鮮事情 台湾ノ例 後藤新平		0592
24	明治四四年	六月二四日	日韓合併行賞 原敏渡鮮 大島義昌渡欧 済生会 石本新六 山県伊三郎		0599
25	明治四四年	八月二三日	東京地方水害 柴田家門帰京 大島義昌渡欧 帰京ノ内意 徳富猪一郎渡鮮		0606
26	明治四四年	八月二九日	柴田家門帰京 石塚英蔵・倉富勇三郎・木内重四郎勅選		0612
27	明治四四年	四月五日	朝鮮総督留任 石本新六陸相任命 乃木希典帰京 西園寺公望 後藤新平 朝鮮総督手当 桂太郎処遇問題 石本新六	500	0620
28	明治四四年	九月六日	桂太郎陸軍処遇 石本新六ト協議		0620
29	明治四五年	一月七日	対清満鮮策意見 英国トノ交渉 モリソン 朝鮮近況 宣教師動静		0009
30	明治四五年	一月一五日	朝鮮総督府予算 朝鮮銀行奉天支店設立 荒井賢太郎上京		0015
31	明治四五年	二月八日	病氣見舞謝辞		0024
32	明治四五年	三月四日	病氣見舞謝辞 眼病見舞 清国政変対処意見 列国ノ態度 対露問題 杉孫七郎病氣 西		0030
33	明治四五年	三月一七日	寛二郎死去 本野一郎 袁世凱		0035
34	明治四五年	四月六日	対清満政策意見 清国借款加入 露国動向 袁世凱		0045
35	明治四五年	四月一四日	石本新六死去 陸相後任問題 対清政策意見 清国借款問題 機密費支出 大城戸宗重		0050
36	明治四五年	五月二三日	上原勇作 長岡外史 福島安正 長谷川好道 岡市之助 関東都督交迭ト陸軍部内状況 大島義昌 福島安正 大島健一 岡市之助 長岡外史 長 谷川好道 山県有朋 李容九叙位勲 拓殖会社補給金 桂太郎外遊 後藤新平随行 日露協商 平井政道		0059
					0069

37	明治四五年	六月一二日	桂太郎外遊 後藤新平随行 日露協商 朝鮮人兇徒留意 歸京内意 山県有朋	SR	0076
38	大正 元年	九月一五日	乃木希典殉死処置 湯池定之丞		0087
39	大正 元年	九月一六日	乃木希典遺書		0093
40	大正 元年	一〇月一七日	滿蒙対策意見 歸京内意 立花小一郎 蔵原惟郭 政局財政問題 徳富猪一郎渡韓		0098

三、徳大寺実則書翰

1	明治三七年	一月一二日	日露戦役ニツキ元老ニ御沙汰 附、御沙汰書 伊藤博文 山県有朋 松方正義 井上馨		0108
2	明治三七年	七月二九日	常陸丸戦死者特賜 山本権兵衛		0114
3	明治三七年	一〇月一五日	大本營条例改正案 山本権兵衛 山県有朋		0119
4	明治三七年	一〇月一六日	大本營条例改正 山県有朋 寺内正毅		0123
5	明治三七年	二月一三日	白石葭江処分 山本権兵衛拝謁		0128
6	明治三八年	二月二五日	桂太郎首相辞任勅語御下賜 附、勅語案		0133
7	明治四〇年	六月二四日	御下賜品		0138
8	明治四一年	六月二三日	御下賜品		0142
9	明治四一年	一月一七日	病氣御慰問御下賜品		0146
10	明治四二年	一月二〇日	韓国皇帝巡幸 伊藤博文扈從		0151
11	明治四二年	六月 七日	山県有朋ノ枢相 伊藤博文ノ統監辞任		0156
12	明治四三年	五月二三日	病氣御慰問御下賜品		0161
13	明治四五年	六月二八日	欧行ノ為参内拝謁 御下賜品		0165
14	明治四五年	七月 二日	御下賜品		0169
15	明治 年	三月二六日	議會終了御慰勞御下賜品		0173
16	明治 年	六月一七日	伊藤博文会談		0177
17	明治 年	八月 六日	佐久間左馬太等中将親任式 進級条例改正		0181
18	明治 年	九月二六日	大山巖・山県有朋会談 大山巖ノ参謀総長留任		0186

19	明治	年二月三〇日	御下賜品	5 R 0191
20	明治	年二月一〇日	宮相面晤ヲ勸告	0195

西、徳川家達書翰

1	明治	年一〇月二七日	露国土産贈遣	0198
---	----	---------	--------	------

奎、上原勇作書翰

1	大正	元年一月一七日	二個師団増設問題 附、山県有朋意見書（田中義一筆力）	0205
---	----	---------	----------------------------	------

亥、内海忠勝書翰

1	明治三五年	五月 四日	沖守固辞表 愈吉 （傳） 小笠原島移送	0214
2	明治三五年	一月一〇日	九州特別陸軍大演習 伊藤博文面晤 地租増徴案 曾禰荒助 平田東助	0219
3	明治	年 一月二九日	（曾禰荒助宛） 政局対処意見	0225

宅、若槻礼次郎書翰

1	明治四四年	八月 二日	財政及ビ正貨状況 山県有朋高橋是清ト協議	0231
---	-------	-------	----------------------	------

亥、渡辺 廉書翰 福原豊功宛

1	明治	年 八月二一日	森五郎推薦	0243
---	----	---------	-------	------

亥、渡辺千秋書翰

1	明治三七年	二月一九日	一身上ニツキ尽力ヲ求ム	0246
2	明治四二年	八月一八日	韓国銀行株宮内省引受 松尾臣善 二荒芳之死去	0250

3	明治四二年	九月二日	韓国銀行優先株	伊藤博文	5 R	0256				
4	明治四三年 ^(九)	十一月一〇日	伊藤博文薨去卜地方長官諭示			0260				
5	明治四三年	二月一日	内国債整理			0267				
6	明治四三年	二月二〇日	伏見宮貞愛親王渡英	議會情勢奏上		0271				
7	明治四三年	三月一五日	渡辺千秋叙勲			0276				
8	明治四三年	四月一日	宮相親任			0281				
9	明治四三年	四月二二日	大隈重信叙勲	板垣退助御下賜金	地方官御陪食	0285				
10	明治四三年	四月二四日	大隈重信叙勲	板垣退助御下賜金		0290				
11	明治四三年	四月二九日	大隈重信叙勲	板垣退助御下賜金		0296				
12	明治四三年	五月八日	英国皇帝崩御	伏見宮貞愛親王御差遣	皇太子英国大使館御弔問	0300				
13	明治四三年	五月一七日	北海道炭礦汽船会社問題	井上馨	室田義文	皇室財産整理	0305			
14	明治四三年	七月九日	韓国皇室へ御贈遣	寺内正毅	韓国赴任	贈遣	0310			
15	明治四三年	七月二七日	帝室財政整理				0316			
16	明治四三年	七月二九日	曾禰荒助危篤	叙勲			0320			
17	明治四三年	七月二九日	曾禰荒助危篤	叙勲			0325			
18	明治四三年	八月四日	明治天皇御不例	日韓合併	在郷軍人会設立	曾禰荒助病氣	山県有朋	寺内正毅	河村	0330
19	明治四三年	八月一五日	日韓合併	韓国皇帝歳費支給	韓国皇族陞任					0337
20	明治四三年	八月一九日	日韓合併	朝鮮王族待遇	正親院設置	附、正親院設置要領(案)				0342
21	明治四三年 ^(九)	八月二〇日	韓国王宣下	樺山資紀問題						0350
22	明治四三年	八月二一日	北海道炭礦汽船会社問題	雨宮敬次郎	田中新七	植村澄三郎	貝塚卯兵衛	大島六郎		
			渡辺甚吉	室田義文						0354
23	明治四三年	八月二五日	日韓合併ノ処置	神宮、神武天皇陵、孝明天皇陵、官幣社ニ	日韓合併報告					0361
24	明治四三年	八月三一日	日韓合併	水害御下賜金	梅謙次郎祭案料御下賜	曾禰荒助祭案料				0369

25	明治四三年	九月二三日	日韓合併 朝鮮華族取扱 井上勝死去 旧華族昇爵	5 R 0375
26	明治四三年	九月一四日	宮内官処分 財政整理	0380
27	明治四三年一〇月二日		朝鮮總督寺内正毅帰朝ノ待遇 牧野伸顯	0385
28	明治四三年一二月二日		三浦安死去	0388
29	明治四四年	一月五日	東伏見宮依仁親王御渡英	0392
30	明治四四年	一月二〇日	窮民救済ノ詔	0398
31	明治四四年	二月一三日	窮民施業費御下賜金 東伏見宮依仁親王御渡英 東郷平八郎 乃木希典 戸田氏共 谷口	0403
32	明治四四年	五月二五日	日野西資博出発	0408
33	明治四四年	八月一六日	伏見宮貞愛親王濟生会總裁就任 外交・鐵道院ノ事奏上	0411
34	明治四四年	八月一七日	伏見宮貞愛親王濟生会總裁就任	0417
35	明治四四年	八月二六日	西園寺公望第二次内閣組織	0422
36	明治四四年	八月二七日	西園寺公望第二次内閣組織	0427
※	明治四四年	八月二八日	西園寺公望大命拝受ノ件	0431
37	明治四四年	十一月二五日	小村寿太郎危篤 天岡直嘉 西園寺公望	0436
38	明治四四年	十一月二七日	小村寿太郎死去	0441
39	明治四四年	二月八日	戰後財政整理始末	0446
40	明治四五年	四月一三日	伏見宮貞愛親王主催濟生会晚餐会辞退	0450
41	明治四五年	六月二〇日	桂太郎欧行 後藤新平随行	0454
42	明治四五年	六月二七日	北海道炭礦汽船会社問題ニツキ三井八郎右衛門來訪 若槻礼次郎錦鷄間祇候	0458
43	大正元年	一月二四日	侍從參候任命	0463
44	大正元年	二月一日	(覚書) 桂太郎第三次内閣組織 附、桂太郎奏上案	0468
45	大正二年	一月二〇日	政局情勢 山県有朋參内奏上	0473
46	明治年	四月一五日	渡辺千春就職依頼	0477
47	明治年	四月一五日	渡辺千春就職依頼	0483

48	明治 年 六月二九日	半期御下賜金送附 渡辺千秋叙勲	5 R 0487
49	明治 年 八月一九日	三井八郎右衛門叙位 井上馨	0492
50	明治 年 二月一三日	内閣機密費	0499

七〇、山県有朋書翰

1	明治一一年一二月 四日	師団章程起草	0504
2	明治一八年一月三〇日	協議	0508
3	明治一九年 八月二七日	陸軍予算	0511
4	明治二五年 四月一九日	士官下士卒不足ニツキ意見	0515
5	明治二五年一〇月 八日	法相就任ノ報	0522
6	明治二六年 八月 九日	山県友子病氣 奥国皇族名古屋遊覽	0528
7	明治 年一二月一日	会見ヲ求ム 有地品之允入洛	0536
8	明治二七年 七月 七日	日清開戦決意 朝鮮東学党乱	0541
9	明治二九年 二月二八日	露国行途次神戸ニテ会見ヲ求ム 児玉源太郎病氣	0549
10	明治二九年 八月 七日	台湾地方官交還意見	0559
11	明治二九年一〇月一七日	台湾総督解任	0563
12	明治二九年一月二三日	東京湾防禦総督 新聞禁止問題 鳥居正功書翰転送	
13	明治三一年 一月一七日	附、明治二九年一月一二日 鳥居正功書翰	0568
14	明治三一年 四月二八日	元帥府設置 坪井航三危篤 有地品之允対話	0577
15	明治三一年 五月 四日	英国ト外交接衝 威海衛撤兵 福建省要求 伊藤博文 井上馨	0583
16	明治三一年 五月 四日	原保太郎・秋月新太郎勅選推挙 北垣国道	0590
17	明治三一年 六月二六日	政府政策意見 芳川顕正	0594
18	明治三一年 八月 八日	桂太郎陸相辞表却下	0600
		内閣情報 大隈重信来訪	0605

19	明治三二年 ^(七)	九月二三日	陸軍諸規則協議 松方正義ノ山県有朋訪問 佐久間左馬太檢閲使	SR	0610
20	明治三二年	九月二三日	病氣見舞 四將軍昇進		0616
21	明治三二年	九月二六日	陸相留任勸告 松方正義・児玉源太郎面会		0621
22	明治三二年一〇月一九日		病氣見舞 憲政党提携意見 伊東巳代治 井上馨		0625
23	明治三三年	七月三十一日	北清事変ノ聖旨		
	附、明治三三年七月三〇日付	徳大寺実則書翰			0629
24	明治三一年	八月 七日	桂太郎等昇進 軍制改良 下士官養成 川上操六病氣		0636
25	明治三四年	八月一日	曾禰荒助 平田東助卜協議 内政意見	GR	0002
26	明治三四年	九月二五日	大山巖參謀總長留任勸告		0010
27	明治三四年	九月 三日	外交政略意見 児玉源太郎卜協議		0016
28	明治三四年	九月二七日	大山巖參謀總長留任		0021
29	明治三四年一〇月 八日		大山巖參謀總長留任		0026
30	明治三四年一二月 九日		日英協約 伊藤博文卜協議		0033
31	明治三五年	二月 七日	予算・外交・軍備意見		0038
32	明治三五年	二月一〇日	内外政策意見 独国交渉 井上公使 野村靖		0048
33	明治三五年	二月二〇日	北清事変論功行賞		0054
34	明治三五年	三月 三日	政治問題 曾禰荒助 伊藤博文		0059
35	明治三五年	三月一七日	寺内正毅陸相候補		0065
36	明治三五年	四月 六日(曾禰荒助宛)	台湾施政費 児玉源太郎 呉枝光視察		0069
37	明治三五年	四月二七日	平田東助来訪 地方官召集訓示 毛利元徳銅像建設 行政財政整理意見		0075
38	明治三五年	四月二九日	露清外交策 伊藤博文 小村寿太郎		0080
39	明治三五年	六月二九日	内外事情ノ奏上		0085
40	明治三五年	七月 三日	露国親王来朝 會計検査院部長交迭		0090
41	明治三五年	七月三十一日	内政事情		0096

42	明治三五年	九月二八日	日露協商意見 軍令部条例意見	6R	0100
43	明治三五年	一月二三日	病氣見舞 会見ヲ求ム 寺内正毅帰京		0106
44	明治三五年	二月九日	議会对策意見 伊藤博文		0111
45	明治三五年	二月二三日	議会对策意見 伊藤博文 兎玉源太郎 朝比奈知泉		0118
46	明治三六年	二月二三日	内政意見 会見		0123
47	明治三六年	一月二六日	伊藤博文・山県有朋会談 政友会ト妥協		0128
48	明治三六年	四月一七日	九州巡遊視察 平田東助訪問 日露交渉意見		0133
49	明治三六年	四月二三日	伊藤博文・山県有朋会談 政友会ト妥協 兎玉源太郎来訪		0140
50	明治三六年	五月七日	内外情勢奏上 露国鴨緑江出兵 井上馨ト協議 伊藤博文上京		0146
51	明治三六年	五月一九日	政友会ト妥協 諸兵検閲 伊藤博文ト会談		0151
52	明治三六年	六月二日	平田東助来訪 諸兵検閲 山県有朋帰京 議会对策		0159
53	明治三六年	六月一日	山県有朋・桂太郎会談 記念会開催		0164
54	明治三六年	八月一九日	極東ニ於ケル露国形勢 栗野慎一郎報告 山県有朋・桂太郎会談		0169
55	明治三六年	九月一日	日露交渉談判意見		0176
56	明治三六年	一月二日	日露談判 田村怡与造死去 寺内正毅		0182
57	明治三六年	一月五日	兎玉源太郎參謀次長就任		0187
58	明治三六年	一月九日	日露交渉談判ノ方法順序意見 兎玉源太郎来訪		0192
59	明治三六年	一月三〇日	山本達雄勅選		0198
60	明治三六年	一月三〇日	病氣見舞 青木周蔵独国電報ニツキ来談 周蔵ノ伊藤博文訪問 平田東助来訪		0201
61	明治三六年	一月二四日	議会对策意見		0207
62	明治三六年	一月二五日	露国極東派兵 栗野慎一郎報告 朝鮮伐木事件 ヲーガクノ袁世凱訪問		0212
63	明治三六年	一月二五日	林権助電報		0219
64	明治三六年	二月五日	対露意見 朝鮮ニ於ケル露国ノ動静 貴族院議長任命		0221
65	明治三六年	二月二一日	満韓交換論		0228

66	明治三十七年 一月 四日	対露意見 満韓交換論 栗野慎一郎報告 小村寿太郎・マクドナルド会談 伊藤博文・小村寿太郎協議	GR 0234
67	明治三十七年 一月一六日(桂太郎・寺内正毅宛)	師団長訓示 動員令準備 対露策	0241
68	明治三十七年 二月 九日	日露開戦準備意見 師団長御陪食 大本營設置 天皇ノ神宮参拝 地方官召集 戒厳令施行 新聞取締	0252
69	明治三十七年 二月 九日	日露開戦後ノ施政意見	0259
70	明治三十七年 二月二一日	内外国債募集 井上馨・曾禰荒助会談	0262
71	明治三十七年 三月二一日	増税案議會提出	0268
72	明治三十七年 三月一八日	陸海軍聯合運動 児玉源太郎・山本権兵衛協議	0273
73	明治三十七年 六月 三日	軍政意見 寺内正毅会見 長岡外史	0279
74	明治三十七年 ^(カ) 八月二一日	児玉源太郎電報協議	0284
75	明治三十七年 九月 九日	馬政改革案協議	0288
76	明治三十七年一〇月 三日	軍事上意見	0290
77	明治三十七年一〇月一五日	日本軍ニ対スル外国批評回付	
		附、明治三十七年八月三一日末松謙澄書翰 外国新聞ノ日本軍評	
		附、明治三十七年九月三日末松謙澄書翰 外国新聞ノ日本軍評 新聞切抜ヲ附ス	0294
78	明治三十七年十一月二二日	馬政改革案	0312
79	明治三十七年十二月二七日	軍司令官訓令中止 大山巖卜面談	0317
80	明治三十八年 二月一三日	外債募集断行 韓国使節意見 平田東助	0321
81	明治三十八年 三月 四日	伊藤博文・桂太郎会談 日英同盟 建野郷三勅選	0327
82	明治三十八年 三月二三日	外債募集状況	0333
83	明治三十八年 五月三一日	日本海々戦大勝	0339
84	明治三十八年 六月二八日	小村寿太郎卜会談 日露休戦奏上 山県有朋滿洲行	0344
85	明治三十八年 七月一四日	馬政局設置 学習院長任命 曾禰荒助協議	0351

86	明治三十八年 八月二八日	日露講和內議 滿洲對策意見	6 R 0356
87	明治三十八年 九月 三日	日露講和卜國內騷擾對策	0362
88	明治三十八年 一月二八日	韓國條約締結 清國談判意見	0367
89	明治三十九年 八月二八日	桂太郎病氣見舞 兒玉源太郎死去	0373
90	明治三十九年 一〇月二七日	寺內正毅昇級辭退 大山巖・兒玉源太郎・西園寺公望卜協議	0379
91	明治三十九年 一月 三日	寺內正毅卜權限論協議ノ報告	0384
92	明治三十九年 一月一〇日	桂太郎ノ山県有朋・寺內正毅ヲ訪フテ明年度予算ヲ協議	0389
93	明治三十九年 二月一〇日	予算編成協議 病氣見舞	0394
94	明治四〇年 九月一三日	山県有朋・桂太郎・伊藤博文・寺內正毅ノ協議 論功行賞	0399
95	明治四一年 一月一六日	予算問題協議 仲小路廉來訪 山県伊三郎・阪谷芳郎辭職	0404
96	明治四一年 三月一六日	青木周藏米國大統領談話筆記	0411
97	明治四一年 七月 八日	葉山雅宴謝辭	0416
98	明治四一年 七月一〇日	元老會議ニ寺內正毅同席希望	0422
99	明治四一年 七月一九日	三浦梧棲樞密顧問官任命	0427
100	明治四一年 七月二四日	都築馨六叙爵協議 西園寺公望等卜協議 井上勝之助	0432
101	明治四一年 七月二八日	日韓協約成立 曾祖荒助重病	0438
102	明治四一年 八月二八日	小村壽太郎外相親任 加藤高明駐英大使就任	0445
103	明治四一年 十二月一〇日	極東外交政策意見 日英同盟 露仏獨同盟	0450
104	明治四二年 一月 五日	曾祖荒助京城發歸京	0457
105	明治四二年 一月一三日	松下軍治（やまと新聞）救助 後藤新平協議	0462
106	明治四二年 一月一四日	松下軍治救助 河村金太郎來訪 後藤新平協議	0468
107	明治四二年 一月一二日	衆議院ノ伊國震災見舞 伊藤博文 末松謙澄・金子堅太郎卜協議	0474
108	明治四二年 三月 八日	附、明治四二年 一月一日付 金子堅太郎意見 衆議院ノ伊國震災見舞意見 貴族院令改正 韓國將來對策	0483

109	明治四二年	二月 七日	議會情況 都築馨六樞密顧問官任命 正親町実正人物	GR 0488
110	明治四二年	四月一八日	韓国将来対策 統監後任ニ曾禰荒助	0495
111	明治四二年	五月 一日	清国談判 第二対清政策	0501
112	明治四二年	六月 七日	宮相交迭 伊藤博文来訪 松下軍治来訪 統監交送	0507
113	明治四二年	六月 八日	芳川顯正樞密顧問官任用ノ議	0514
114	明治四二年	七月一三日	韓国司法権委讓軍部廃止 満洲政略	0519
115	明治四二年	七月一九日	音問	0525
116	明治四二年	八月一八日	安奉鉄道問題 対清政策	0530
117	明治四二年	八月三〇日	曾禰荒助病氣 浜岡光哲身上ヲ河村金太郎ト協議	0536
118	明治四三年	二月 三日	朝鮮副統監人選 対韓政策 大浦兼武ト協議 曾禰荒助病氣	0541
119	明治四三年	二月 三日	芳川顯正樞密顧問官親任 公債借替問題	0548
120	明治四三年	二月一一日	議會ノ地租軽減案審議 侍從職幹事人選	0554
121	明治四三年	二月二六日	満洲経営意見 日露協商案 小村寿太郎協議	0561
122	明治四三年	三月一〇日	日露協商案ノ閣議可決 第二公債借替ノ井上馨意見 予算案ノ貴族院可決 大浦兼武欧行	0566
123	明治四三年	三月二五日	曾禰荒助病氣 韓国統治策	0573
124	明治四三年	四月 五日	平田東助ト協議 内政意見 山県有朋經濟會議出席	0578
125	明治四三年	六月二五日	曾禰荒助病氣 韓国統監後任協議 公債借替問題 寺内正毅 平田東助 若槻礼次郎	0584
126	明治四三年	七月 一日	桂太郎・山県有朋会談 財政計画意見 日韓合併論 憲法論ヲ河村金太郎ト協議	0590
127	明治四三年	七月一〇日	韓国統治協議 寺内正毅韓國統監就任 元老會議開催 井上馨 松方正義	0595
128	明治四三年	八月一七日	大洪水情況及対策 華族監督案	0600
129	明治四三年一〇月 二日		大山巖来訪 英国皇帝戴冠式ニ乃木希典派遣 奥保鞏	0609
130	明治四四年	一月二八日	議會対策協議 大逆事件始末 安広伴一郎 河村金太郎	0614
131	明治四四年	二月二七日	南北朝問題意見 寺内正毅 河村金太郎	0619

132	明治四四年	六月二八日	華族ノ濟生会豫金 毛利元昭 島津忠重 井上馨 徳川家達 蜂須賀茂韶	6 R	0628
133	明治四四年	六月三〇日	日英同盟改訂 毛利元昭ノ濟生会寄附金 小村寿太郎来訪		0634
134	明治四四年	八月二日	桂太郎ノ来談 陸軍拡充論協議		0640
135	明治四四年	八月一七日	古稀庵来訪ヲ求ム	7 R	0002
136	明治四四年	八月三一日	西園寺第二次内閣成立 小村寿太郎ノ外相留任 蔵相山本達雄批評 桂太郎元勲優詔拝受		
137	明治四四年	九月二四日	西園寺公望		0007
138	明治四四年	十二月一日	西園寺第二次内閣評 小村寿太郎 平田東助 小松原英太郎 西園寺公望		0013
139	明治四五年	一月一五日	山県有朋・桂太郎会谈 参謀本部人事協議 四国借款問題		0020
140	明治四五年	二月九日	清国政情 孫文ノ依頼ヲ益田孝取次グ 満洲対策意見 对支政策意見		0025
141	明治四五年	三月一日	对清政策意見 田中義一來訪予定		0034
142	明治四五年	三月二〇日	杉孫七郎大患 同子爵昇爵ニツキ意見 井上馨 宮相		0040
143	明治四五年	四月二日	(陸相)石本新六大患 陸相後任選定		0048
144	明治四五年	六月一日	陸相後任意見 寺内正毅 田中義一 上原勇作 石本新六		0054
145	明治四五年	七月四日	桂太郎 欧洲巡遊 西園寺公望		0061
146	大正元年	九月一日	中華民國対策樹立 欧洲巡遊準備		0067
147	大正元年	一〇月二二日	各国元首名代待遇 杉山茂丸来訪		0072
148	大正元年	一〇月二二日	学習院長後任ニ大迫尚敏推薦 奥保章 東郷平八郎 小笠原長生		0077
149	大正元年	十二月一〇日	新帝ノ君德涵養ニツキ意見 別紙 歌一首(一〇月一九日作)		0082
150	大正元年	十二月二八日	増師問題処理手続 国防会議ニツキ意見 平田東助		
151	大正二年	一月一四日	附、桂太郎覚書 増師問題処理ノ方針		
152	大正二年	二月一〇日	附、山県有朋追加覚書 桂太郎覚書ニ但書ヲ追加		0090
			増師問題処置ノ意見		0097
			閥族退治、憲政擁護運動ニツキ意見 地方情勢探索		0101
			時局紛糾ニツキ意見		0111

153	大正二年五月二十四日	桂太郎病氣見舞 加州排日問題 天皇御不例憂慮	7 R 0114
154	大正二年六月十六日	令息逝去ノ弔詞	0123
155	大正二年八月三〇日	病氣見舞 山県病狀報告ト贈物ニ対スル謝辞	0128
156	明治五年五月一二日	内外施政意見 組育東洋通信社設置	0133
157	明治五年六月一八日	宮相ト協議	0141
158	明治五年六月一九日	朝比奈知泉送別宴出席ノ報	0147
159	明治五年七月六日	御陪食拝辞	0151
160	明治五年八月二四日	予算編成協議 内相来訪	0157
161	明治五年九月一〇日	意見書返却ヲ求ム	0163
162	明治五年九月一日	山県有朋・寺内正毅・桂太郎ノ協議	0167
163	明治五年一〇月二二日	閣議事情問合セ	0171
164	明治五年十一月一日	桂太郎ノ山県有朋訪問 時局協議 小村寿太郎報告書	0176
165	明治五年十一月二七日	山県有朋・桂太郎・寺内正毅ノ予算協議	0181

七、山本権兵衛書翰

1	明治三五年一〇月二九日	山県有朋ト会谈 海軍拡張計画	0188
2	明治三七年一月一五日	日進・春日両艦ノスエズ通峽 露艦ノスエズ通峽 英艦スエズ集合 井上馨来談	0194
3	明治三七年一月一六日	病氣見舞 一箇師団動員ノ議	0198
4	明治三七年一月二九日	小康論ニ意見 山県有朋 伊藤博文	0201
5	明治三六年(カ)一月七日	意見撤回	0204

七、芳川顕正書翰

1	明治四一年三月二五日	柴原孫太郎紹介	0208
2	明治四一年七月一五日	組閣祝辞	0213

3	明治四三年 二月 八日	政友会議員結束事情 桂太郎ノ山県有朋訪問中止 西園寺公望ト交渉	7 R 0218
4	明治四三年 七月二四日	伯爵同志会分裂 佐久間佐馬太・乃木希典・児玉秀雄勸誘依頼 大木遠吉暗躍	0223
5	明治四三年二月一三日	久米金弥勅選推挙 大浦兼武協議	0230
6	明治 年 七月二〇日	蜂須賀茂韶ニ廻金	0237

七、宋秉畯書翰

1	明治四一年一〇月 三日	韓国施政意見 附、大韓日報 切抜二葉	0243
---	-------------	--------------------	------

八、李容植

1	明治四三年一月 八日	詩ヲ贈ル	0258
---	------------	------	------

九、雜書翰

1	日 付 ナ シ	月曜会幹事通知案	0262
2	日 付 ナ シ	三浦梧楼ノ会幹事辞任	0265

十、欧文書翰

1	Edwin Flgner	七通	0270
2	Klemens W. J. Meckel	五通	0288
3	Alfred Weiller	一通	0303
4	Frank G. Wilson	一通	0308
5	Leroux	一通	0314
6	P. L. von Trench	一通	0319
7	その他	二八通	0325

書類の部

七、桂太郎自伝稿本

1	桂太郎自伝（浄写本）五冊	祖先ノ記述ヨリ明治三四年第一次桂内閣ニ至ルマデ	7 R	0426
2	桂太郎自伝（自筆本・浄写本）二冊	明治三四年内閣組織ヨリ明治三六年内閣改造マデ	8 R	0002
3	桂太郎自伝（自筆本・浄写本）二冊	明治三三年中ノ記述ヨリ日露戦争マデ		0125
4	桂太郎陸軍出身前ノ略歴（自筆）一冊	出生ヨリ独逸留学マデ		0312
5	桂太郎自伝稿本（自筆）一冊	日露戦争後第二次桂内閣マデ		0336
6	桂太郎自伝稿本（浄写本）一冊	七七―5ニ同ジ		0342
7	自伝断片（自筆）和紙二枚	明治一一年ニ至ル略歴		0351
8	桂太郎自伝卷一（活字本）一冊	祖先ノ記述ヨリ維新奥羽参戦マデ		0356

六、桂太郎伝記参考書（一）

1	桂家歴代戒名			0419
2	第三師団長就任ノ際訓示	明治二四年六月九日		0422
3	濃尾震災救助ニ対スル名古屋市民感謝状	明治二五年一〇月五日		0424
4	濃尾震災救助ニ対スル愛知県知事挨拶状	明治二五年一二月二八日		0425
5	名古屋市民感謝状ニ対スル答辞	明治二五年一〇月五日		0426
6	濃尾震災救助ニ対スル岐阜県本巣郡根尾谷村人民感謝状	明治二五年二月二七日		0427
7	毛利公爵ノ育英事業ニ於ケル事跡大要	明治四四年		0428
8	桂太郎履歴資料			0430
	明治二七年官報写	第一次桂内閣閣僚名簿	桂太郎経歴	桂太郎履歴書二通
				0438

9	日清戦争ノ際第三師団長ノ訓令	明治二十七年二月一日	8 R	0459
10	日清戦争ノ際訓示	明治二十七年二月九日		0460
11	在牛莊宣教師ニ送ルノ書	日本第一軍先鋒司令官 桂太郎		0461
12	在牛莊宣教師ヨリノ回答書	仏国人 エフス・フルータン		0463
13	在牛莊宣教師ノ書翰	ジョン・マッケンヂー		0464
14	在營口日本国名誉領事バンジネルニ送リシ書面	明治二十七年二月一七日		0466
15	バンジネル回答書	明治二十七年二月二二日		0468
16	第一軍司令官第三師団長ノ意見書	明治二十八年一月一日		0469
17	辞職願	台湾総督		0471
18	辞職願	内閣総理大臣		0473
19	辞職願	内閣総理大臣		0475
20	桂太郎伝(概要)	弘化四年——明治四五年外遊迄		0477
21	済生会起源	二部		0502
22	毛利家譜	中田憲信稿		0508

九、桂太郎伝記参考書(一)

1	桂第二次内閣組閣ノ際施政方針	明治四十一年七月		0537
2	財政整理並鉄道経営ニ関スル意見	井上馨		0559

八、桂太郎伝記参考書(三)

1	桂太郎覚書	大正天皇御態度		0005
2	桂太郎書翰草稿	大正天皇奉呈伊藤博文意見書		0007
3	覚書	明治天皇御大葬後ノ天皇、皇后、皇太后、皇太子、皇子御住居其他		0010
4	覚書	明治天皇御大喪中ノ心得		0015

5	覚書	大正天皇勲章御佩用御避寒御避暑	
6	覚書	大正天皇御日課	
7	覚書	大正天皇御日課案	
8	覚書	大正天皇御講学 本居豊穎 三島毅 三田	
9	覚書	大正天皇皇子御住居	
10	覚書	東宮職組織案	
11	大正天皇御沙汰書控	宮相内府宛 威仁親王ノ東宮御輔導	
12	桂太郎覚書(自筆)	上奏書類ノ処理	
13	覚書	迪宮・淳宮・光宮御修学要項	
14	桂太郎覚書(自筆)	対清作戦策 明治一三年頃	
15	桂太郎書翰 井上宛	軍制改正都督部設置 二月三日	
16	奥羽列藩連判状写・同盟約書	明治元年五月	
17	船越衛書翰 桂太郎宛	広沢真臣ノ桂太郎称揚 明治四四年三月	
18	桂太郎跋文	佐久間鍊園画跋 明治四一年	
19	桂太郎自筆覚書	日露戦争動員	
20	桂太郎略歴 英文(中島久万吉筆)		
21	桂太郎奏請書(他筆)	大逆事件ノ首相待罪書 明治四四年一月一八日	
22	明治天皇御沙汰書	桂太郎待罪書ニ対スル勅諭 明治四四年一月	
23	桂太郎自筆覚書	人事	
24	末松謙澄意見書	桂太郎宛 貴族院ノ明治三十五年度予算ノ議 明治四四年	

八、桂太郎伝記参考書(五)

1	桂広繁筆 賦物篇		0090
2	桂直繁製 系譜 (現物ナシ)		0109

3	山口藩達書 桂寿熊宛	世子附小姓任命	慶応元年閏五月六日	9 R	0110
4	山口藩達書 桂太郎宛	山口政事堂出頭ノ命	四月二二日		1112
5	乃美半兵衛等伝達書 桂太郎宛	山口政事堂出頭ノ命ノ伝達			1112
6	奥羽戦役行賞覚書	明治元年十一月二七日			1112
7	桂潔澄覚書	長州藩京都出兵	慶応三年十一月		
8	山口藩達書 桂太郎宛	出頭ノ命	明治元年		1126
9	山口藩達書 桂太郎宛	徴士任命問合セ	明治元年八月二二日		1128
10	山口藩施政局達書 桂太郎宛	桂与一右衛門ノ家督相続	明治二年五月二八日		1132
11	山口藩達書 桂太郎宛	家禄下賜	明治三年八月		1133

附、右添状

三、桂太郎伝記参考書(六)

1	予算大綱費目覚書	桂太郎	明治三五年	1151				
2	増税、北清事変償金処分方針意見		明治三五年	1153				
3	桂太郎書翰（控）	山県有朋宛	地租増徴継続案ヲメグル十七議会議会報告	曾称荒助	長谷場純孝	大石正巳	井上馨	1157
	平田東助	明治三五年一月二四日						
4	井上馨電報	曾称荒助宛	西園寺公望辞職後任推薦	伊藤博文		明治四一年七月五日		1161
5	明治三六年予算大綱方針桂太郎手書覚書		明治三五年					1166
6	桂太郎書翰（控）	山県有朋宛	地租増徴継続案ニツキ伊藤博文・井上馨会見	山県有朋へ面談依頼	平田東助			1174
	明治三六年一月							
7	明治三六年予算海軍拡張費・鉄道敷設費関係覚書		明治三六年一月					1183
8	政友会代議士招待会挨拶（草案）		明治四四年一月					1185
9	政党ノ貴族院壟断対策意見							1187

三、桂太郎伝記参考書(七)

9 R 1191

- 1 日露交渉意見書 伊藤博文 明治三十七年一月 1194
- 2 日露開戦後ノ施策意見 明治三十七年一月 1196
- 3 紀元節勅語草案 伊藤博文 明治三十七年二月九日 1200
- 4 対韓方針覚書 1202
- 5 寺内正毅書翰 桂太郎宛 滿洲軍總司令部編成裁可ノ件 明治三十七年六月九日 1203
- 6 対露作戦計画ノ大方針及作戦経過ノ概要 明治三十七年六月一〇日 1204
- 7 第二回日英協約締結ノ方針 明治三十八年五月二四日閣議決定 1221
- 8 日露休戦ニ関スル勅語草案 明治三十八年 1229
- 9 日露戦後論功行賞案 明治三十八年 1231
- 10 第二回日英同盟兩國提案一覽 明治三十八年 1233
- 11 日露講和条約案文 明治三十八年九月 1242

四、桂太郎伝記参考書(八)

- 1 台湾統治方針 桂太郎 明治二九年七月 1255
- 2 北清事変ニ関スル覚書 〔自伝草稿ノ一部カ〕 1258
- 3 第三次桂内閣成立ノ際予算編成意見 大浦兼武筆 大正元年 1263
- 4 後藤新平書翰 桂太郎宛 政友会幹部動向 地方官吏迭意見 大正元年十二月二十九日 1270
- 5 時事評論 第八卷第一四号 (大正二年一月一日發行) 公爵桂太郎論 1273
- 6 蓋棺公論——故桂公爵に対する追感追悼—— 大正二年 1301
- 7 桂太郎略伝 大正二年 1320
- 8 衆議院解散理由書 大正二年二月 1356
- 9 井上馨發電 伊藤博文宛 政友会ノ態度ニツキ意見 明治三四年一月 1363

10	伊藤博文発電 井上馨宛	同返電	明治三十四年一月二十九日	9 R	1364
11	第一次桂内閣ノ財政問題ニ関スル上奏案文		明治三十六年カ		1365
12	内閣総理大臣辞表		明治三十六年七月		1375

金、桂太郎伝記参考書(九)

1	在外武官服務心得	明治八年四月二八日			1383
2	北垣国道報告書 伊藤博文宛	土佐立志社内情	板垣退助ノ挙動	同対策意見	明治一一年九月二五日
3	野外演習概則改正案				1386
4	遺族保護規則				1388
5	軍団監督服務綱領				1394
6	隣邦兵備略・支那地政誌調査報告上申文案		明治一二年		1397
7	参謀学科進級意見	明治一四年			1400
8	総参謀局職務				1402
9	侍従武官服務規律				1408
10	参謀本部、陸軍省事務分掌				1417
11	軍事部条例				1417
12	参謀本部ト軍令部合併ニ反対スル意見				1434
13	海軍省、軍令部職務権限				1441
14	参議山県有朋・西郷従道意見書	海軍ニ参謀本部不要ノ意見			明治一三年二月二一日
15	東京湾海峡防禦案	明治一七年九月一八日			1444
16	巡視諸要地ニ対スル意見書 仁礼景範・樺山資紀	川村純義宛			明治一七年二月九日
17	兵器民間購入意見 附、東京・大阪砲兵工廠官員表				1453
18	シ・イ・ゴルドン書翰 李鴻章宛(写)	仏、合衆国等士官採用	直隸地方築城		1456
19	国防防禦ノ問題				1465
					1469
					1472

20	英国ノ大砲	9 R	1475
21	日清戦争作戦		1495
22	日清銀行法		1497
23	千住製絨所払下ニ関スル意見		1506
24	北畠親房墓所在異見 北畠治房稿		1517
25	帝国国防方針・国防ニ要スル兵力・帝国軍用兵綱領策定ニ関スル顛末概要	明治四〇年	1530
26	法庫門鉄道敷設ニ関スル在英小村大使来電	明治四一年一月二二日	1534
27	北京ノ政況 宗方小太郎報告	明治四二年一月一日	1536
28	伊藤博文暗殺事情 松本少佐報告	明治四二年一〇月二七日	1542
29	我国常備陸軍ノ拡張ト財政トノ関係ヲ論ス	附表 七表 明治四四年七月	1543
30	山県有朋意見書 国内・外ノ情勢ヲ叙シ、別冊対策ヲ供覧(別冊ナシ)	明治四四年七月三一日	1568
31	漢治萍日支合弁訂約ノ大綱	明治四五年一月二九日	1575
32	教科用図書調査委員会議決事項	明治四四年	1579
33	御製取調掛ニツキ意見書		1593
34	西園寺公望・後藤新平会谈覚書(写)	第三次桂内閣成立経緯並ニ政友会ノ同内閣ニ対スル態度	大正二年一月 1200
	一六日		
六、桂太郎伝記参考書(十)			
1	桂太郎題辞	所収記録ハ山県有朋ヨリノ引継文書ナル旨ヲ記ス	10 R 0002
2	陸軍文官ノ組織ヲ改ムル意見		0006
3	将校海外留学手続		0008
4	海外留学生監督章程	明治八年五月	0012
5	戦時陸軍編制並其解説	附表 六枚 明治一八年六月	0015
6	軍事行政釐革ノ議 二部	明治一八年	0034
			0050

7	監軍部条例	明治二〇年	10R	0057
8	陸軍軍隊檢閲条例			0060
9	戦地埋葬概則			0062
10	将校会食所規定			0066
11	省部関係ノ事務手続書			0069
12	仏国陸軍総参謀編			0094
13	出師編制及職務綱領			0098
14	出師名簿編纂手続			0152
15	出師計画書順序並方法			0156
16	出師計画書附表			0168
17	三浦梧楼意見書	軍幹部養成	明治一八年二月	0186
18	改正東京湾防禦第二期策案		明治一八年四月一三日	0210
19	対州兵備草按	明治一八年六月		0227
20	対馬島警備隊編制案			0235
21	対馬警備隊編制表			0244
22	対馬独立隊編制総論、対馬駐屯兵隊編制案			0246
23	対馬駐屯砲兵教育概則			0256
24	対州兵備草案	明治一八年六月		0263
25	兵營位置之義ニ付意見	和智重任	明治一八年一〇月	0272
26	三年兵ヲ廃シタル歩兵隊ノ景況			0274
27	陸軍武官進級条例	明治一八年九月八日		0278
28	陸軍士官学校条例	明治二二年カ		0289
29	陸軍戸山学校条例	明治二〇年		0293
30	陸軍中央幼年学校条例	明治二二年カ		0298

31	陸軍地方幼年学校条例	明治二二年カ	10R 0303
32	陸軍教導団条例	明治二三年カ	0307
33	陸軍乗馬学校条例		0311
34	陸軍砲兵学校条例		0315
35	陸軍砲兵射撃学校条例、陸軍要塞砲兵学校条例		0319
36	憲兵司令部密偵報告 鳥尾小弥太ノ動向 旧自由黨員トノ交渉	明治二二年二月	0329
37	都督部条例草案、同制定ノ理由	明治二九年二月起草	0333

八七、桂太郎伝記参考書(下)

1	陸軍省及ビ参謀本部相互通牒事項		0346
2	明治一五〇七年度陸軍省予算		0366
3	明治一七年度陸軍省経費予算		0370
4	明治一八年度陸軍省予算関係書類		0413
5	明治一九年度陸軍省経費予算		0426
6	軍本営人馬員数表他九種統計表		0515
7	安南報告 池田正介・小泉正保	明治一六年二月二七日	0539
8	馬屋原二郎推薦状並同人維新前後ノ履歴書	明治四四年七月	0554

八八、明治四十五年外遊関係書類

1	渡辺千秋書翰 桂太郎宛	桂太郎渡欧ニツキ上奏	明治四五年七月四日	0578
2	桂太郎渡欧調査事項甲号・乙号			0581
3	奉送 桂公爵西遊(漢詩)			0583
4	桂公ノ外遊ニ就テ			0591
5	桂太郎外遊ニ関スル新聞記事(写)	アメリカカ訪問不可能		0594

6	アメリカ国務省電報写 駐日アメリカ大使宛	アメリカ訪問不可能	明治四五年七月三日	10R	0595		
7	上原勇作電文(訳) 桂太郎宛	徐世昌トノ面談内容ノ報告要請	明治四五年七月一日		0596		
8	加藤高明(駐英大使)書翰 桂太郎宛	明治天皇病状	明治四五年七月二〇日		0597		
9	加藤高明書翰 桂太郎宛	英国外務大臣トノ談話書類送致	明治四五年七月二〇日		0600		
10	加藤高明報告 内田康哉宛(写)	桂訪英ニ関スル英国世論	明治四五年七月一九日		0602		
	附、ロンドン・タイムズ切抜三通						
11	加藤高明書翰 桂太郎宛	桂帰国ニツキ英首相外相へ釈明	内大臣就任ニ賛意	大正元年九月三日			
	附、グレー書翰 加藤高明宛	大正元年八月九日			0610		
12	加藤高明書翰 桂太郎宛	天皇大患帰国都合同	英議會ノ日英同盟論議	明治四五年七月二五日			
	附、ロンドン・タイムズ切抜						
	附、加藤高明報告 内田康哉宛	英議會ノ日英同盟論議内容	明治四五年七月一日		0615		
13	加藤高明書翰 桂太郎宛	桂訪英予定 訪英ニ関スル新聞論調	八・九月中ノ皇帝・外相予定	明治四五年七月一九日	0621		
14	畑良太郎書翰 桂太郎宛	独国ニオケル世論	外務大臣代理ノ桂訪欧ノ目的観測	訪独日程	独逸ニ於ケル日独協会設立準備	明治四五年七月二五日	0625
15	デルンブルク書翰 桂太郎宛(独文)	露都ヨリ帰朝事情	内大臣就任	大正元年		0632	
16	桂太郎書翰草稿(断簡)	露都ヨリ帰朝事情	内大臣就任	大正元年		0633	
17	桂太郎書翰草稿(在露)	帰国ノ日程決定	日露同盟意見			0636	
18	本野一郎書翰 桂太郎宛	内大臣就任ニ賛意	支那政局ニ対スル露国政策	我国満蒙政策ニツキ意見	大正元年九月一五日	0640	
19	桂太郎書翰草稿	加藤高明宛	露都ヨリノ帰朝挨拶	露国ニ於ケル極東問題ニ関スル会谈要旨	明治四五年七月二七日	0650	
20	桂太郎書翰草稿	畑良太郎宛	帰朝事情ノ報告	在独知人ニ対スル謝辞	明治四五年七月二七日	11R 0002	

21	桂太郎渡欧ニ関スル新聞記事綴訳	11R	0009
1	メッサージエド パリー		0011
2	ジュルナル		0016
3	エコード パリー		0020
4	ゴウロア		0025
22	米国通信社記者トノ会見要旨		0045
23	桂公ノ外遊ニ就テ		0059
八、	日清戦後経済事情	明治三三年一月作成	0133
九〇、	桂太郎辞令集	明治元年、二年	0146
九一、	長州藩第四大隊軍規	明治元年二月	0154
九二、	奥羽鎮撫総督御宿陣行軍之次第	総督府	0160
九三、	奥羽征討凱旋当時書翰断片	明治元年	0164
九四、	桂太郎書翰 石部録郎宛（草稿）	奥羽賊軍降服ヲ報ズ	0168
九五、	世良修蔵殺害始末	杉原覚右衛門口上書	0178
九六、	書翰断簡	戊辰傷病者横浜転院 北地戦死者ノ招魂場設置ノ件	0191
九七、	第四大隊下士行賞一覧	明治二年カ	0200
九八、	石部誠中書翰	桂太郎宛	0205
九九、	木戸孝允書翰題辞	桂公撰 杉子書	0205
一〇〇、	桂太郎・川上操六・川崎祐名意見書草案	大山陸軍卿宛 二通	

陸軍經常費節減ニヨル軍制改革反対

明治一八年二月

11R 0209

111、桂太郎書翰草稿 伊藤博文宛 後任内閣組織ヲ切望 内閣組織ノ御沙汰拝辞 明治三四年五月二八日 0223

112、桂太郎覚書 第一次桂内閣更迭理由、後継内閣ノ資格 明治三九年 0232

113、桂太郎覚書 豊川良平・小山健三招致 0239

114、桂太郎書翰草稿 寺内正毅宛 帰京日時通知 明治 年一〇月四日 0243

115、桂太郎覚書 日英同盟ニ関スル伊藤博文意見 明治三四年八月 0246

116、寺内正毅覚書 伊瀬地好成・真鍋武・小池正直・菊地常三郎勅選議員推薦 明治 年二月一三日 0256

117、桂太郎書翰案 独逸国某宛 内大臣就任ノ経緯 現在ノ感慨ヲ述ブ 大正元年 0260

118、立憲同志会関係書類

1 立憲同志会々々則（草案） 0275

2 立憲同志会組織構成（案） 0278

3 覚書 対議会策 0281

4 立憲同志会結成趣旨 0284

5 同志会代議士入会者名簿 0289

6 立憲同志会大懇親会ニ於ケル桂太郎演説要旨 0293

7 院外入会人数（大正二年四月一七日調） 0295

8 事務所建設概要 0299

9 会費支出受領書 六綴 0309

一〇、山県元帥意見書

0328

- 1 山県有朋意見書 桂太郎宛 日露戦争作戰計画 明治三十七年三月二七日 0330
- 2 山県有朋意見書 軍国急務 明治三十七年九月 0334
- 3 山県有朋意見書 政戦両略概論 明治三十八年三月二三日 0343

一一、桂太郎書翰案

0354

宛名不明 憲政党内閣内情 明治三一年

一二、桂太郎手記

0362

大正政変 大正元年一二月

一三、桂太郎覚書

0368

日韓合併処分案 明治四三年

一四、桂太郎書翰草案

0389

- 1 山県有朋宛 身上 大正元年一月一日 0389
- 2 山県有朋書翰 桂太郎宛 返翰 大正元年一月二日 0401

一五、欧文書類(一)

0406

Die Bestimmung über Ersatz-Geschäft Küstenkanonen für Japan. 他7点

一六、欧文書類(二)

0445

- Handbuch für Pompei 0445
- Journal Militaire Officiel, Anne 1886, No.70. 0519
- Kölnische Zeitung. 他外国新聞切抜 0523
- Catalogue(E.Krauss & Co.,Optische Industrie-Anstalt) 0529

桂家累代文書

二六、毛利元清書狀 藩主嚴島社参 一〇月二三日

二七、毛利元清書狀 藩主嚴島社参 一月一四日

二八、毛利隆元判物 桂広繁宛 所領宛行 天文一九年二月二三日

二九、毛利元就・毛利隆元判物写 桂元澄宛 所領安堵 天文二三年七月二日

三〇、毛利元就・毛利輝元判物 桂広繁宛 所領安堵 永禄一一年七月二六日

三一、毛利輝元書狀

- 1 桂広繁宛 中丸新里いとか派遣ノ命 一月二九日
- 2 桂広繁・三上七郎右衛門尉・門田左馬之亮宛 豊臣秀吉広島宿陣警固 文禄元年正月一六日
- 3 快友宛(自筆力) 小袖贈ル 九月二七日
- 4 快友宛(写) 使者派遣意見ヲ求ム 正月七日
- 5 桂広繁宛(写) 百石知行宛行 九月二七日
- 6 快友宛 藤七郎痘瘡見舞 二月一九日
- 7 桂広繁宛(写) 広澄在京ニツキ城普請ニ来ルニ及バズ 三月一三日
- 8 桂広繁宛(写) 分限報告ノ命 二月二七日
- 9 桂広繁宛(写) 桜尾城在番、宮島警戒ノ命 四月五日
- 10 桂広繁・椋梨某・桂紀伊守宛 (写) 小早川秀包死去 四月一日
- 11 桂広繁宛 元綱上洛随行 桜尾猿懸両城守備ノ命 八月二八日
- 12 桂広繁宛(写) 所領宛行 天正二〇年八月一六日

一三、小早川隆景書狀

- 1 栗屋内蔵丞宛(写) 桂広繁進退 五月一六日
- 2 小田宮内大輔宛 桂広繁戰功褒賞 五月三日
- 3 栗屋内蔵丞宛 桂元澄・広繁戰功賞 五月一六日
- 4 桂広繁宛(写) 感狀 天正一〇年五月四日

一三、小早川秀兼書狀

- 1 桂広繁宛 織田信長合戰 八月一三日
- 2 桂広繁宛 島津征伐 天正一四年一月一三日
- 3 桂広繁宛(写) 島津征伐

一四、黒田長政書狀 桂広繁宛 弟召抱ノ意 一月一五日

一五、桂正澄書狀 桂十郎左衛門宛 毛利元就・隆元判物受領 天和元年二月二日

一六、毛利輝元判物(写) 桂広繁宛 所領宛行 天正三年二月一八日

一七、毛利秀元判物(写) 桂広繁宛 所領宛行 慶長七年二月一三日

一八、林肥前守等連署書狀 桂広繁宛 所領替 天正一九年十一月七日

一九、小早川秀兼書狀(写) 桂広繁宛 織田信長合戰 八月一三日

二〇、毛利輝元書狀(写) 桂広繁宛 所領宛行 九月二七日

二一、毛利輝元書狀(写) 桂広繁宛 帰国小袖贈与 九月二七日

二二、毛利輝元書狀(写) 桂広繁宛 所領安堵 二月二四日

一三、毛利元就・輝元書狀(写) 桂広繁宛 来着ヲ求ム 九月一七日

一四、黒田長政書狀(写) 桂広繁宛 弟召抱 十一月一五日

一五、黒田惣右書狀(写) 快友宛 上京ヲ求ム 七月二七日

一六、毛利匡敬書狀 桂九郎左衛門宛 年頭祝詞ノ謝辞 二月二八日

一七、某書翰(断簡) 一二月晦日

一八、中谷章貞書狀 村田清風宛 安積良斎著書贈付其他 二月五日

一九、野坂文書

1 桂元重書狀 房顕宛 借錢 遷宮 一二月二六日

2 桂元重書狀 大聖院大遷宮 一二月八日

3 桂元重書狀 房顕宛 徐目ノ注文 遷宮 七月二四日

4 桂元重書狀 棚守・大願寺宛 徐目 遷宮 一〇月一九日

5 桂元重・平佐就之連署書狀 棚守左近衛將監・大願寺大聖院宛 算用狀 元龜二年十一月一日

6 桂元重書狀 房顕宛 吉田・嚴島ニ米ヲ送ル 一二月二九日

7 桂広繁書狀 棚守左近衛將監・同左近大夫宛 寄進地引渡 八月二四日

8 桂繁俊書狀 野坂内蔵助・河野惣兵衛宛 売券 天正一九年四月二日

9 桂元保・同元相・同就忠・同元親・同元忠連署書狀 棚守左近衛將監宛 寄進狀 弘治三年一〇月二二日

二〇、桂広繁書狀 長野某宛 元清給地ノ事 慶長一〇年九月一〇日

二一、

1 山口藩家老連署書狀 根来主馬宛 桂又兵衛養嗣許可 享保九年一〇月六日

2 桂又兵衛届書(写) 名前替 延享三年一二月二八日

- 3 山口藩家老書狀 桂七郎右衛門養子許可 寛延三年正月二八日
- 4 厚母小左衛門書狀 桂半次郎宛 御用呼出 六月二四日
- 5 山口藩達 桂九郎右衛門宛 御役御免隠居ノ命 寛延二年一二月
- 6 山口藩達 桂九郎右衛門宛 閉居ノ命 寛延二年一二月カ
- 7 内藤与三右衛門書狀 桂九郎右衛門宛 呼出 寛延二年カ一二月二八日
- 8 山口藩達 穴道八郎宛 桂与一右衛門家督相統 享和三年八月二九日
- 9 山口藩達 桂茂右衛門宛 京都留守居ノ命 寛政一〇年八月八日
- 10 福原舍人書狀 桂茂右衛門宛 京都祇役ニツキ御目見 寛政一〇年九月三日
- 11 山口藩達 桂三郎左衛門宛 桂与一右衛門ニ分知許可 文化二年五月一八日
- 12 遊佐喜兵衛書狀 桂与一右衛門宛 分知宛行ノ為出張ヲ報ズ 文化二年八月一九日
- 13 山口藩達 桂与一右衛門宛 家督相統祐筆勤務ノ命
- 同上(写)
- 14 根来主馬等書狀 桂与一右衛門宛 召狀 文政一三年五月一三日
- 15 穴戸伊勢等書狀 桂与一右衛門宛 召狀 四月二二日
- 附、山口藩達 桂与一右衛門 役替ノ命
- 16 口羽孫右衛門等書狀 桂与一右衛門宛 召狀 文政九年九月一〇日
- 17 浦雄之進書狀 桂与一右衛門宛 召狀 三月八日
- 18 桂衛士書狀 桂与一右衛門宛 役替 五月九日
- 19 堅田駿河等書狀 桂与一右衛門宛 召狀 五月九日
- 20 山口藩達 桂与一右衛門宛 徳佐在郷許可 文化三年一二月二八日
- 21 山崎宗兵衛等書狀 桂与一右衛門宛 召狀(養子許可) 一〇月二七日
- 22 覚書 日光御手伝ノ命 安永九年八月より天明三年四月迄
- 23 覚 長府御用掛
- 24 桂親保(三郎左衛門)書狀 桂与一右衛門宛 招待狀 正月四日

- 25 齋藤六左衛門書狀 桂茂右衛門・与一右衛門宛 法会招待 三月二五日
- 26 山口藩達 桂与一右衛門宛 賞賜 文政一一年四月二三日
- 同上(写)
- 27 桂茂右衛門書狀 桂与一右衛門宛 藩主出府 賞賜加増ノ報 文政二年四月六日
- 28 桂与一右衛門願書控 口羽孫左衛門・穴戸伊勢・児玉五左衛門宛 辭職願 文政七年六月一日
- 29 山口藩達 根来主馬・志道隼人・堅田駿河宛 桂与一右衛門ノ養子願許可 天保三年一〇月二七日
- 30 山口藩達 根来主馬・志道隼人・堅田駿河宛 桂与一家督許可 天保四年四月一九日
- 31 甚吉壳券(写) 十右衛門宛 家屋敷壳渡 天保一〇年九月
- 増野甚兵衛壳券 土地壳渡 申(天保七^カ)八月一五日
- 32 桂与一右衛門上申書 山口藩庁宛 履歴 安政五年二月
- 33 毛利元義書狀 桂与一右衛門宛 音問謝辞 三月三日
- 34 毛利文之助書狀 桂又兵衛宛 賀正謝辞 二月一日
- 35 毛利蔵主書狀(写) 長沼登宛 桂又兵衛仕官 未年三月六日
- 36 毛利内膳書狀(写) 毛利蔵主宛 桂又兵衛仕官 未年三月九日
- 37 毛利蔵主書狀(写) 長沼登宛 桂又兵衛仕官 未年三月一日
- 38 毛利蔵主書狀(写) 乃木仮庵宛 桂又兵衛仕官 三月一三日
- 39 山口藩達(写) 桂茂右衛門宛 賞賜 四月二四日

一四三、桂家祖先祭案内人名簿

一四二、中谷正亮贈位記 明治四四年六月一日

一四一、宮内省沙汰書 中谷正亮贈從四位 明治四四年六月一日

一四〇、行政官達書他

- 1 東北平定ノ功賜賞 明治元年一月

- 2 毛利筑前 東北從軍ノ功賞賜 明治二年六月一日
- 3 毛利敬親賞状 戦功賞賜 明治二年六月
- 4 奥羽鎮撫總督府達 参謀添役任命 明治元年八月
- 5 奥羽鎮撫總督府達 戦功賞賜 明治元年九月
- 6 奥羽鎮撫總督府達 桂太郎・山本登雲介・内田謙三郎・栗屋市太郎・上野他吉郎宛 戦争終結ニヨリ当役御免
明治元年一〇月
- 7 行政官達 軍功賞賜 明治二年六月

一四、桂家親類附 桂繁世書 一冊

(奥)

右者直良代改ル浚年相考可知者也 直良選之

一四、毛利御靈銘簿 一冊

(奥)

本書ハ桂過去帳ノ写ナリ詳細ハ過去帳ニ付テ知ルベシ

一四、桂家由緒書 一冊

毛利桂両家ノ関係調査書 大正二年一〇月調

一四、桂家過去帳 一冊

一五、桂家歴代小伝 一冊 (明治期写)

(奥)

右私家略系并伝書御書御判物御奉書写如是御座候民部太輔広繁以前之儀ハ桂三郎左衛門家より可申出候以上

明和貳酉二月 桂又兵衛（花押）

一五二、桂家略系並伝書写 桂直良書 一冊

明和二年二月

（奥）

右私家略系并伝書御書御判物御奉書写如其御座候民部太輔広繁以前之儀ハ桂三郎左衛門家より可申出候已上
明和貳酉二月 桂又兵衛（花押）

一五三、桂氏家譜 大江直良書 一冊

安永四年二月改記

一五三、桂太郎葬儀関係書類

- | | | |
|----|--------------|----|
| 1 | 故桂公葬儀関係雜纂 | 一冊 |
| 2 | 故桂公葬儀関係書類(一) | 一冊 |
| 3 | 故桂公葬儀関係書類(二) | 一冊 |
| 4 | 葬儀関係書類雜 | 一括 |
| 5 | 葬儀係及警備員名簿 | 一冊 |
| 6 | 総務係日誌、庶務日誌 | 二冊 |
| 7 | 故公爵御葬儀宮繕関係書類 | 一冊 |
| 8 | 故桂公葬儀會計書類 | 一冊 |
| 9 | 故桂公葬去吊表芳名録 | 一冊 |
| 10 | 故桂公病氣見舞芳名録 | 一冊 |
| 11 | 桂家弔問者名簿 | 二冊 |
| 12 | 弔辞 三十二通 | 一袋 |

12R 0138

0210

0292

13R 0001

0201

13	悼句、墓誌他	一袋
14	法要通知、挨拶状	一袋
一四、	桂家旧蔵写真類	四〇点
一五、	国民新聞・読売新聞	一袋
一六、	感謝状	一六通
一七、	慰問之辞等	一袋
一八、	御下賜品御沙汰書	一〇通
一九、	桂公爵夫人ニ対スル御沙汰書	七通
二〇、	碑銘揮毫願等	一袋

桂太郎発書翰の部

桂太郎発書翰の部

1.	明石元二郎宛書翰	14R	0001
2.	安達 謙蔵宛書翰		0017
3.	荒川 五郎宛書翰		0024
4.	伊東巳代治宛書翰		0036
5.	井上 馨宛書翰		0260
6.	大隈 重信宛書翰	15R	0074
7.	大山 巖宛書翰		0087
8.	岡 市之助宛書翰		0112
9.	小川 平吉宛書翰		0127
10.	沖 守固宛書翰		0137
11.	尾崎 三良宛書翰		0144
12.	樺山 資紀宛書翰		0149
13.	川上 操六宛書翰		0163
14.	木戸 孝允宛書翰	宮内庁書陵部所蔵資料	0188
15.	黒田 清隆宛書翰	黎明館所蔵資料	0195

16	河野 廣中宛書翰	15R	0217
17	後藤 新平宛書翰	陽明文庫所藏資料	0225
18	近衛 篤磨宛書翰		0555
19	斎藤 実宛書翰		16R 0001
20	阪谷 芳郎宛書翰		0085
21	佐々 友房宛書翰		0128
22	品川彌二郎宛書翰		0139
23	杉 孫七郎宛書翰		0241
24	立花小一郎宛書翰		0293
25	都筑 馨六宛書翰		0306
26	寺内 正毅宛書翰		0321
27	田 健治郎宛書翰	17R	0001
28	豊川 良平宛書翰		0032
29	長岡 外史宛書翰	長岡外史顕彰会所藏資料	0045
30	野村 靖宛書翰		0063
31	花房 義質宛書翰		0172
32	原 保太郎宛書翰	東京都立大学附属図書館所藏資料	0186
33	平岩 親徳宛書翰		0194

34	平田	東助宛書翰	17R	0210
35	前田	正名宛書翰		0380
36	牧野	伸顕宛書翰		0409
37	松方	正義宛書翰		0416
	同			0482
38	三浦	梧楼宛書翰		0488
39	三島弥太郎	宛書翰		0504
40	陸奥	宗光宛書翰		0509
41	山縣	有朋宛書翰	18R	0001
42	山根	正次宛書翰	19R	0121
43	渡辺	千秋宛書翰		0141

拓殖大学図書館所蔵資料

山縣有朋記念館所蔵資料